

TDCG

東京歯科大学同窓会会報

1980年10月 第197号

目 次

巻頭言	1
お知らせ	2
TDC 卒後研修セミナー '81プログラム	3
昭和55年度 東京歯科大学同窓会 評議員会・定時総会開催通知	4～5
本部短信	6
逝去会員	7
東京歯科大学千葉校舎上棟式	8～9
高山紀斎先生墓地改修	10
第12期学術会議会員選挙	11～13
母校だより	15～19
明日の臨床に	20
北から南から	21
支部のうごき	22～24
クラス会だより	25～28
すいどうばし	29～33
へんしゅうこうき	34

(表紙・カット 菊池 豊)

卷頭言

医療界と政治

副会長 阿部 鋭 夫

政治の場に医療人の参画なくしては、医療界の向上、改善は望めない。と身にしみて感じて久しいことです。特に、皆保険の施行以来、医療界の息苦しさは何んともやりきれないのが実状で、医療人が等しく被ぶってきた怒涛とも言えることでしょう。

この時代を切り抜けるためには、医療の本質を理解しない（理解していても党利、党略のためとぼけている）政治家の城、国会へ直結のパイプ役をなす業界代表を送り込むことにあると思います。

我々医療担当者の主訴を聞いてくれる政治の場における窓口を先ず作るほか問題の解決突破は考

えられないことです。

今や、学術が向上すればする程政治的に圧迫され身うごきの出来ない深刻な時代になってきました。

高度の技術をもって寄与すべき国民と保険悪の政治の挟撃に立往生している医療界の暗さに切歯扼腕の折、去る6月の選挙で同窓会員から、関口、浅井、井上先生を一挙に政壇に送り得たことは誠に爽涼の感が致しました。

学術陣の努力が大らかに国民に寄与出来るように、学術と政治が一体となり、緊密な連繫を保持し、いわば共同作業の必要性を主張する次第です。

×

×

×

×

お知らせ

新年交歓会御案内

— 開催日変更にご注意を —

恒例の新年交歓会は、5日の午後1時から行います。ご家族のみなさまとゆっくり新春を迎えられた後、母校にご参集戴きたいと存じます。そして、恩師、長老を囲んで平素はなかなかお会いできない旧知、旧友と共に新年を寿いで下さい。特に、今回は懐しの学び舎「すいどうぼし」における最後の新年会になろうかと思っておりますので、多数の会員各位のご来会をお待ち致しております。

日 時 昭和56年1月5日(月)午後1時

場 所 東京歯科大学(水道橋)中央ホール

東京歯科大学学長 松宮 誠一

東京歯科大学同窓会会長 河邊 清治

○ 東京歯科大学同窓会 評議員会 総会

と き 昭和55年11月22日(土)

ところ 白金プリンス迎賓館

港区白金台5丁目21番9号 (03)(444)1231

評議員会 午前9時～午後2時

後援会総会 午後2時15分～午後3時15分

定時総会 午後3時30分～午後5時30分

懇親会並びに関口恵造、浅井美幸、井上 裕議員の祝賀会 午後6時～午後8時

○ 昭和56年度東京歯科大学入学試験

期 日 (1) 学科試験・小論文試験・適性試験：2月1日(日)、2日(月)

(2) 面接試験・健康診断：2月3日(火)、4日(水)、5日(木)のうち大学の指定するいずれか1日の午前または午後

試験場 東京歯科大学進学課程

発 表 昭和56年2月10日(火)午後4時

なお詳細は本会報12月号(第198号)に掲載します。また入試要項、大学要覧は本年11月下旬までにできます(送料を含めて1,000円)。

○ 第212回東京歯科大学学会例会

と き 昭和56年3月7日(土)

ところ 東京歯科大学

○同窓会会員名簿(昭和53年版)住所変更ならびに新入会員(昭和55年卒)の住所の小冊子を同封します。

OTDC 卒後研修セミナー '81 プログラム

総合的な視点にたった歯科診療

加齢への対応〔Ⅱ〕

◇第1回〔昭和56年1月24日(土)〕

9:30~9:40 ◇会長挨拶, 学長挨拶

§.1. 加齢変化を考えた修復補綴処置のサイクル

- 9:40~11:10 1. 加齢変化と診療計画 関根 弘(東歯大・補綴)
- 11:10~12:30 2. 受診動態からみた問題点 佐々木達夫(東歯大・社会歯科)
- 13:30~16:30 3. バーチャルデンチャーの崩壊過程から学ぶこと
豊永美津糸(福岡県・開業)

◇第2回〔昭和56年2月21日(土)〕

- 9:30~12:20 4. 咬合の加齢変化への対応 井上 昌幸(医歯大・歯・補綴)
5. 加齢変化に対応して修復補綴を考える
- 13:20~14:50 (1) 保存修復の立場から 石川 達也(東歯大・保存)
- 15:00~16:30 (2) 歯冠補綴の立場から 羽賀 通夫(東歯大・補綴)

◇第3回〔昭和56年3月28日(土)〕

§.2. 加齢変化に対応する診療計画

- 9:30~11:30 1. 患者の年齢を考える 有川 清康(住友生命・医務部)
- 12:30~14:40 2. 総合診療計画の考えかた 阪 初彦(埼玉県・開業)
- 14:50~16:30 3. イニシャルプレパレーションの臨床的意義 安部井寿人(東京都・開業)

◇第4回〔昭和56年4月18日(土)〕

- 9:30~11:00 4. 修復歯の予後をどう読むか 石川 達也(東歯大・保存)
- 11:00~12:30 5. 抜歯か保存か 国島 康夫(東京都・開業)
- 13:30~16:30 6. 処置方針の具体例 鈴木 文雄(千葉県・開業)

◇第5回〔昭和56年5月23日(土)〕

§.3. 加齢変化に対応した術後経過の分析

- 9:30~11:00 1. クラウンをとりまく諸問題 山口 明弥(昭和大・歯・補綴)
- 11:00~12:30 2. クラウン・ブリッジの経過から 菅野 博康(宮城県・開業)
- 13:30~16:30 3. 加齢変化は予測ができるのか
— 術後経過の分析から — 金子 一芳(東京都・開業)

◇第6回〔昭和56年6月20日(土)〕

- 9:30~11:00 4. 少数歯残存症例への対応から 松元 誠(医歯大・歯・補綴)
- 11:00~12:30 5. バーチャルデンチャーの経過から 鈴木 尚(東京都・開業)
- 13:30~16:30 6. ベリオの問題をかかえたバーチャルデンチャー
片山 恒夫(大阪府・開業)

◇第7回〔昭和56年7月11日(土)〕

- 9:30~11:50 7. 細胞・組織も“とし”をとるのか—老化の生物学
能村 哲郎(埼玉大・理・生体制御)
- 12:50~15:50 8. 修復処置の期待と結果のくいちがいから 山下 敦(岡山大・歯・補綴)
- 16:00~16:30 ◇ '81のまとめと '82の展望 卒後研修特別委員会
- ◇ 受講証の授与, 会長挨拶

★詳細は同封のTDC 卒後研修セミナー '81の御案内を御覧下さい。

昭和55年度東京歯科大学同窓会評議員会定時総会開催通知

東京歯科大学同窓会評議員会
後援会総会，定時総会日程

血協記念基金，共済基金，名簿積立金，退職積立金，同窓会創立80周年記念募金事業)

1. 日時 昭和55年11月22日(土) 午前9時から
2. 会場 白金プリンス迎賓館
(港区白金台5-21-9)
電話 (03)444-1231)
3. 日程

区 分	時 間
評 議 員 会	午前9時00分～午後2時00分
後 援 会 総 会	午後2時15分～午後3時15分
定 時 総 会	午後3時30分～午後5時30分
懇親会並びに関 口恵造，浅井美 幸，井上 裕議 員の祝賀会	午後6時00分～午後8時00分

昭和55年度東京歯科大学同窓会評議員会
昭和55年11月22日(土)
午前9時～午後2時

1. 開会の辞
1. 点 呼
1. 会長挨拶
1. 来賓挨拶
1. 議長副議長選出
1. 議事録署名人選出
1. 報 告
 - (1) 昭和55年度 会 務 報 告
 - (2) 昭和55年度 会計現状報告
1. 議 事
 - 第1号議案 昭和54年度 東京歯科大学同窓会
経常部収支決算に関する件
 - 第2号議案 昭和54年度 東京歯科大学同窓会
特別会計収支決算に関する件(同窓会基金，

第3号議案 昭和54年度 東京歯科大学同窓会
財産目録の承認に関する件

(監 事 報 告)

- 第4号議案 財産処分(備品廃棄，債券償還)
の承認に関する件
- 第5号議案 昭和56年度 東京歯科大学同窓会
事業計画に関する件
- 第6号議案 昭和56年度 大学助成金の一部お
よび割引電信電話債券
償還金の同窓会基金へ
の繰入に関する件
- 第7号議案 昭和56年度 同窓会基金の一部と
り崩しに関する件
- 第8号議案 昭和56年度 東京歯科大学同窓会
入会金および会費に関
する件
- 第9号議案 昭和56年度 東京歯科大学同窓会
経常部収支予算に関する
件
- 第10号議案 昭和56年度 東京歯科大学同窓会
共済負担金に関する件
- 第11号議案 東京歯科大学同窓会共済規程の一
部改正に関する件
- 第12号議案 昭和56年度 東京歯科大学同窓会
特別会計収支予算に関
する件(同窓会基金，
血協記念基金，共済基
金，名簿積立金，退職積
立金，同窓会創立80周
年記念募金事業)
- 第13号議案 名誉会員の推薦に関する件

会 務

第14号議案 昭和55年度 敍勲、褒章受章者顕彰に関する件

第15号議案 役員の補充に関する件

1. 閉会の辞

第86回東京歯科大学同窓会定時総会
昭和56年11月22日(土)
午後3時30分～午後5時30分

1. 閉会の辞

1. 会長挨拶

1. 来賓挨拶

1. 議長, 副議長選出

1. 議事録署名人選出

1. 報 告

- (1) 昭和55年度 会務報告
- (2) 昭和55年度 評議員会報告
- (3) 昭和56年度 東京歯科大学同窓会経常部並びに特別会計収支予算に関する件

1. 議 事

第1号議案 昭和54年度 東京歯科大学同窓会経常部収支決算に関する件

第2号議案 昭和54年度 東京歯科大学同窓会特別会計収支決算に関する件(同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金, 同窓会創立80周

年記念募金事業)

第3号議案 昭和54年度 東京歯科大学同窓会財産目録の承認に関する件

(監事報告)

第4号議案 財産処分(備品廃棄・債券償還)の承認に関する件

第5号議案 東京歯科大学同窓会共済規程の一部改正に関する件

1. 敍勲、褒章受章者顕彰式

1. 閉会の辞

総会並びに

懇親会に御出席を!

会長 河邊清治

例年表記の会合は、全国の東歯同窓会評議員及びごく一部の会員の出席を得て行われています。今年には私が会長を受けて初めての会合であります。各クラスの会合等この時期に東京で行われることもありましょう。本会は特に関口恵造君が見事参議員議員に当選し、私達歯科界の代表として政界に歩を進めて居ります。又先輩の浅井美幸衆議員議員, 井上裕参議院議員も歯科界発展のためご努力して居ります。懇親会ではこの三君の当選祝賀会もあわせ行われます。どうか会員の諸兄弟おさそい合わせの上本会に御出席下さいますことを希望します。なお懇親会には御家族御同伴を歓迎いたします。

電 車 山の手線・目蒲線=目黒駅下車
 東口より徒歩5分

バ ス 白金台5丁目下車 2分
 目 黒 ↔ 大井競馬場 (品93)
 目 黒 ↔ 日本橋三越 (橋86)
 目 黒 ↔ 千駄ヶ谷 (黒77)
 目 黒 ↔ 東京駅南口 (黒10)
 等々力 ↔ 東京駅南口 (黒98)

タクシー 東京駅より 30分
 羽 田 〃 30分
 品川駅 〃 10分
 新 宿 〃 30分



本部短信

1) 役員出張，行事その他

- 8月28日 学術部委員会（進学指導セミナー担当）
- 9月2日 役員打合せ（会長，副会長，総務，学術担当理事）
- 4日 卒後研修特別委員会（企画）
- 5日 学術部委員会（進学者導セミナー担当）
- 8日 共済部委員会
- 10日 卒後研修特別委員会（企画）
- 11日 芝支部懇談会 河邊会長出張
- 16日 役員打合せ（総務，会計担当理事）
- 17日 広報部委員会（会報編集）
- 18日 卒後研修特別委員会（企画小委員会）
- 18日 千葉校舎上棟式，祝賀会 河邊会長他役員列席
- 18日 東歯関係日歯役員，代議員，県歯会長懇談会 河邊会長他役員出席
- 20日 理事会
- 23日 横浜北部支部懇談会 伊丹副会長，中村理事出張
- 25日 卒後研修特別委員会（合同）
- 27日 卒後研修セミナー（第7回）閉講 河邊会長他役員出席
- 27日 卒後研修特別委員会（合同）

- 27日 東海地域支部連合会 井上名誉会長，阿部副会長，滝監事，伊藤理事出張
- 27日 八紫会創立20周年記念祝賀会 河邊会長列席
- 29日 大学幹部との懇談会 河邊会長他役員出席
- 30日 卒後研修特別委員会（広報小委員会）

2) 罹災会員

静岡県支部 山本雅久（39.3卒）
（ガス爆発事故により全壊）

3) 推薦会員退会（昭55.9.20 理事会承認）

函館支部 村岡 操氏
千葉県支部 中島長夫氏
横浜北部支部 藍原 旭氏
尾張支部 夫馬眞一氏
同上 堀部みや子氏
富山県支部 奥平ユキエ氏
兵庫県支部 江見四郎氏

会報訂正

会報第195号昭和55年春の敘勲者中，菅田晴山氏勲五等瑞宝章とありますが勲五等旭日章の誤りにつき，深くお詫び申し上げます。

×

×

×

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼を表し
心からご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略・届出順)

●医学校 大阪支部	静間 孝介 (78才) 〒586 大阪市河内長野市長野町4-7	老 衰	55. 8. 14
●昭 6 卒 千葉県支部	興津 義雄 (80才) 〒299-27 千葉県安房郡和田町和田498		55. 8. 9
●大 14 卒 札幌支部	田中 保吉 (76才) 〒060 札幌市中央区南十条西6	肺 癌	54. 3. 4
●大 9 卒 三重県支部	吉田 秀雄 (81才) 〒515 松阪市中町1, 832	肺 炎	55. 8. 21
●昭 34 卒 静岡県支部	山口 隆英 (45才) 〒430 浜松市佐藤町699	脳 出 血	55. 8. 24
●明 41 卒 静岡県支部	加藤 慎一 (89才) 〒413-04 静岡県加茂郡東伊豆町稲取	心 不 全	55. 4. 18
●医学校 横須賀 鎌倉支部	大橋 作夫 (82才) 〒239 横須加市長沢288	肺 炎	55. 8. 26
●医学校 函館支部	佐藤 辰三郎 (87才) 〒040 函館市若松町21-15	心 筋 硬 塞	55. 8. 29
●推 薦 練馬支部	細川 富士雄 (78才) 〒176 練馬区旭町3-26-18	脳 軟 化 症	55. 9. 4
●昭 46 卒 静岡県支部	榎本 昌憲 (34才) 〒432 浜松市富塚町2, 132-142	溺 死	55. 9. 7
●医学校 旭川支部	福田 四郎 (79才) 〒078-11 旭川市1条16丁目右1	心 不 全	55. 9. 8
●昭 15 卒 三重県支部	浅川 正吾 (50才) 〒510 四日市市南納屋町1-3	脳 出 血	55. 9. 9
●推 薦 芝支部	長井 頼逸 (79才) 〒105 港区新橋6-12-4	心 筋 硬 塞	55. 9. 13
●医学校 秋田県支部	小林 保 (88才) 〒010 秋田市大町6-3-24	老 衰	55. 9. 13
●大 12 卒 本所支部	牧 重久 (83才) 〒130 墨田区石原1-37-4	急性心不全	55. 9. 15
●推 薦 四谷支部	小倉 亮 (83才) 〒160 新宿区新宿2-15-25	心 不 全	55. 9. 21
●大 10 卒 埼玉県支部	長山 参三 (82才) 〒360 熊谷市宮町1-117	心 不 全	55. 9. 20
●医学校 福岡県支部	中牟田 作太郎 (75才) 〒823 福岡市鞍手郡宮田町宮田50	脾 臓 癌	55. 9. 20

東京歯科大学千葉校舎上棟式挙行さる

本学千葉校舎の上棟式は、昭和55年9月18日午前11時より厳かに挙行された。思い起せば昭和54年3月2日、千葉市稲毛の現地において盛大な起工式が行われたことが、昨日のように思い出される。(本会報第189号、昭和54年6月号に報道)

千葉校舎建築工事は、その規模の大きさから三期に分けて着工することとし、同年3月5日、第Ⅰ期工事より工事が開始された。爾来、工事は順調に進捗し、当初の工程表どおりの進度で進行し、1年半後の本年8月末には各建物群の出来高は次に掲げるとおりとなった。



	建物名称(仮称)	延床面積	出来高
第Ⅰ期工事	実習講堂棟・基礎棟	17,650m ² (5,583坪)	100%
第Ⅱ期工事	病院棟・臨床管理棟	21,000m ² (6,351坪)	61%
第Ⅲ期工事(1)	進学棟・動物舎	3,160m ² (952坪)	85%
第Ⅲ期工事(2)	厚生棟・体育館・部室・合宿所	6,630m ² (2,000坪)	42%
第Ⅲ期工事(3)	講堂・図書館	3,670m ² (1,110坪)	15%
合計		52,110m ² (15,996坪)	63%

(昭和55年8月末現在)

上棟式の実施時期については、建物群の主要建物のコンクリート打設完了時を予定し、その時期前後の大安吉日を選ぶこととなり、法人理事会は9月18日午前11時と決定し、上棟式式典、校舎見学、記念パーティーに分けて実施することとした。

上棟式当日の状況は次のとおりであった。

1. 上棟式式典(午前11時～11時40分)

式典は、病院棟前に天幕を張り設けられた式場において、金竹学監の司会により齊主の鳩森八幡神社の神官によって厳粛に執り行われた。参列者

は法人側は役員，大学幹部教職員に同窓会長，父兄会長，学職経験者を加えて20名，鹿島建設株式会社側は社長，副社長，幹部社員ら20名，計40名で，式次第に従って進められた。式の中で「定礎の儀」が行われ午前11時40分に恙がなく終了した。

2 校舎見学（正午～午後1時）

校舎見学は，千葉校舎建設実行委員会全委員に教授，名誉教授，学生代表などを加えて約70余名が，鹿島建設現場責任者の案内で，完成した第1期工事部分を見学の後，大教室に集合，角度をつけた教室天井に埋め込んだ教育用テレビの視聴，16mm映画（起工式当日撮影フィルムその他）の映写など教室の持つ最新の機能に感嘆し，見学を終了した。

3. 記念パーティー（直会）（午前1時30分～3時30分）

見学終了後，席を千葉駅前の千葉パレスホテルに移し，鹿島建設の現場関係職員をも加えて120

余名が参集。高木副学長の司会により開会，まず鹿島俊雄理事長より千葉校舎が本日上棟式を挙行するに至った喜びと関係各位の支援を感謝する旨の挨拶があり，続いて松宮誠一学長，河邊清治同窓会長よりそれぞれ挨拶が述べられた。鹿島建設株式会社よりは今井茂副社長が同社を代表して祝辞と謝辞を述べられ，次いで祝宴に入るに先立って井上真同窓会名誉会長により神酒乾杯が行われ，記念すべきパーティーに入った。

参会者一同，来年6月に完成予定の千葉校舎の来るべき姿を脳裡に画きつつ杯をあげ，なごやかな一時を談笑のうちに過し，午後3時半会を閉じた。

なお特筆しておきたいことは，この大建築工事に，本日に至るまで1人の怪我人も出さず無事故に終始していることは，鹿島建設株式会社の現場規律の厳正，工事指導の適切さを物語るもので上棟式の意義を一入と深めるものであった。



先生のお名前を母校に永久に刻む！

なお前号196号（昭和55年8月）に80周年募金の現況という記事で「募金に応じた会員の名を永久に母校に残すよう記念碑のようなものを大学当局に建立していただくよう河邊会長より鹿島理事長に，理事会の総意としてお伝えしております。」ということをお伝えいたしました。その後，東京歯科大学理事会はこの同窓会の希望を汲みとりこれを実現させると決定し，その具体案を現在鹿島建設で検討中であります。

高山紀齋先生の墓地改修なる

故高山紀齋先生の墓地を改修して、学校法人東京歯科大学が高山家の墓地の祭祀を承継することになり、去る10月3日午前11時30分より、東京都杉並区和泉の名利、高野山真言宗遍照山文殊院において墓地改修供養が行なわれた。

同窓会々報第194号(昭和55年4月)に既報のごとく、母校創始者高山紀齋先生の墳墓が無縁となる可能性があることが明らかになり、大学関係者、同窓諸氏の努力により、昨年末の大学法人理事会で高山家の墓地の祭祀を母校が施主として行なう

こととなった次第である。

当日は、あくまでも澄み渡る秋空のもと、法人から、鹿島理事長、井上理事、入江理事、河村理事、佐藤理事、大学から松宮学長、高木副学長、金竹学監、高橋病院長、加藤市川病院長、石川衛生士専門学校長、中村事務部長、本会から河邊会長、高山先生ゆかりの山脇岡山県支部長、又、一戸父兄会長、学生代表として専門課程3年難波君が参列し、しめやかに行なわれた。



山本義茂母校名誉教授を

再び日本学術会議に送ろう

会長 阿邊清治

日本学術会議会員の改選期がまた近づいて参りました。母校東歯学会の推薦により、第11期日本学術会議会員・東京歯科大学名誉教授 山本義茂先生は第12期会員選挙に再度立候補されたことは既に本会報第196号に案内の通りであります。

今回も前回と同じく、専門にかかわらない部門、すなわちB票によって立候補されています。B票は、有権者の専門別と関係なく、第7部全国区、医歯薬関係者から1名を記載します。今回は第7部の各分野から、A票、B票併せて25名の立候補があり、定員23名であることから、2名の方は落選の憂き目を見なければなりません。前回の4名に比較して、一見安易に感じられますが、それぞれの持票が大体定まっており、特に有力なところが立候補をしぼっている点、一人当りの獲得票数は多くなる可能性が高くなっています。したがって有権者数の少い歯学では、山本先生1人にしぼっても可成りの苦戦が予測されます。

前回(第11期)は、同窓諸君の熱心な御支援に

もかわらず、当選順位は最下位になっております。尚第7部歯学では、全国区A票の定員が2名で、新国俊彦氏(日大歯学部)と白数美輝雄氏(大阪歯科大学)が立候補されています。従ってこのお二人は無競走でともに当選されます。以上の様なことから、有権者各位におかれては、棄権されることなく、有効な投票をされるようお願いいたします。

選挙方法は、郵便投票によりおこなわれます。即ち10月下旬~11月初旬頃に有権者各位宛に中央選挙管理会から送られて参ります所定の投票用紙に、選挙しようとする者の氏名を自ら記載し、本人が直接郵送しなければなりません。

母校では、前回の選対委員長瀬端教授が再び委員長となり、中久喜、佐藤両教授も副委員長として、万全の体勢を整えています。

全国同窓、挙って立ち上り、この選挙戦を勝ち取りましょう。

第12期日本学術会議会員選挙迫る!!

— 投票についてのご注意 —

前号でお知らせの通り、第12期日本学術会議会員選挙は、11月25日までに日本学術会議必着による郵便投票によって行なわれます。投票用紙は、10月中旬に、有権者あて送付されます。その様式は下図の通り3名連記制で、「全国区A票」、「全国区B票」、ならびに「地方区票」の3つの記載欄があります。

「A全国区票」は専門別で、われわれの場合は歯学の候補者から1名記載します。現在歯学は定

員2名のところを新国俊彦日本大学前歯学部長と白数美輝雄大阪歯科大学長が立候補しておられます。

「全国区B票」には、有権者の専門にかかわらず、第7部全国区の全候補者、すなわち、歯学を含めて基礎医学、臨床医学、公衆衛生学、薬学などの立候補者の中から1名選んで記載します。今回の山本義茂東歯大病院長は、この票による当選を期して立候補されたわけです。

学術会議

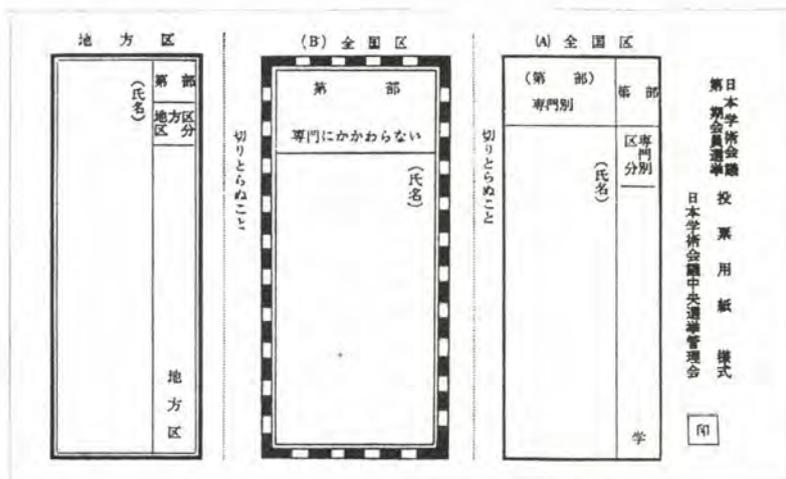
「地方区票」は北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州の7地方区からそれぞれ1名選出されます。本年は無競走のため記入する必要はありません。

なお、A票とB票の両方に同一人を記載しますと、いずれかの票が無効になります。また、投票用紙に投票者の住所氏名を記入し、また押印した場合や、A票、B票、地方区票を切り離したりし

た場合には、その票は無効になりますからご注意ください。

第12期会員選挙の専門別、専門にかかわらない部門の、立候補者の定数は別表の通りで23名の定員に対し25名の立候補者があり激戦です。特に専門にかかわらない部門は熾烈を極めております。

従って、同窓有権者の諸氏には、日本の歯学界が益々向上するよう、貴重な一票を正しく行使されることを希望します。



日本学術会議第12期会員選挙

(第7部門 全国区)

区分	定員・候補者数	定員		立候補者数	備考
		専門	専門外		
基礎医学	4	} 8		7	
臨床医学	4			9	
公衆衛生学	2			3	
歯学	2			3	
薬学	3			3	
計		23		25	

第12期会員選挙行事予定（昭和55年）

3月31日	第12期有権者資格審査のための登録用カードの受付の締切
4月下旬	第12期有権者の資格審査
6月上旬	不認定通知の発送
不認定通知を受けた 日から20日以内	不認定通知を受けた者の異議の申立の受付
7月1日～10日	有権者名簿の縦覧
7月1日～21日	有権者名簿に対する異議の申立の受付
7月11日～25日	立候補及び候補者推薦の届出の受付
7月11日～8月11日	立候補若しくは推薦の取消又は届書の内容変更の届出の受付
8月20日まで	候補者氏名の官報公示
8月下旬	追加有権者名簿の縦覧
9月5日～20日	選挙運動のために使用する葉書の検印
10月下旬	投票用紙、選挙公報等の発送
11月25日	選挙期日（投票の締切日）
11月27日～12月1日	開 票
12月上旬	当選人の決定とその告知
12月上旬	当選人氏名の官報公示

抜去歯牙を捨てないで!!

後輩のために役立てよう

現在専門課程4年に在籍中の第86期生の国家試験も間近かに迫り、例年の如く国家試験に使用する天然歯の収集状況は、かなり不十分な状態といえます。

国家試験に必要な天然歯は上顎中切歯、上顎第1、第2小白歯、上顎第1大臼歯で、中切歯を左右2本、小大臼歯を並べていずれも石膏ブロック中に植立して試験に使用します。歯学のめざましい進歩、口腔衛生思想の普及などにより、抜去される歯牙も激減しているのが現状で、学生諸君が一軒一軒歯科医院を訪問しましても、頂戴できる数はわずかなものです。さらに従前にも増して、歯学の進歩に伴う教科内容の高度化とあいまって歯科医院訪問に時間をなかなかさけない状態にあります。

同窓会会員各位におかれましては、学生が先生方の診療所を訪問して抜去歯牙を頂戴にあがった折には、ぜひ御協力をお願いいたします。

又、国家試験は窩洞形成、髓室開拡が試験問題

として出題されることが多い関係上、折角の抜去歯牙も乾燥していますと破折など受験生にとっては、思いもかけぬ事になりますので、抜歯後直ちに固定液（70%消毒用アルコールもしくは10%ホルマリン）中に浸漬保存して頂くようお願い致します。

尚、既に収集して下さっている歯牙あるいは収集願う歯牙につきましては、御面倒でも下記に御一報下さるよう重ねてお願い致します。

〒101 東京都千代田区三崎町2-9-18

東京歯科大学 学生課宛

電話 03 (262) 3421

また御郵送いただける場合には、70%アルコール浸漬の状態（ホルマリンは劇物ですので郵送中の事故の心配があります）御送り下されれば幸いです。

抜去歯牙は

口の中から→保存ビンへ

同窓会会員各位

歯科医師国家試験用抜去歯牙収集に関するご協力依頼

紅葉鮮やかな今日この頃ですが、会員各位には御健勝の事と拝察申し上げます。

さて、この度明春の国家試験に備え、専門課程4年に在籍中の学生諸君は鋭意諸準備を進めておりますが、特に保存・実地試験に必要な天然歯（11 56 左右いずれも可、なるべくノンカリエス）の収集に大変苦勞している状態

東京歯科大学同窓会会長 河邊清治
東京歯科大学父兄会会長 一戸俊治

す。

ここ何年か、この件で同窓各位に多大な御協力を頂いており、大変恐縮しております。

本学が過去から国家試験に高い合格率を示すことができましたのも、ひとえに先生方の御協力の賜物と深く感謝しております。

つきましては、本年も会員各位の絶大なる御理解、御協力により、国家試験に万全な対策をもって臨みたいと思っておりますので、何卒御支援、御協力を心よりお願い申し上げます。

母校だより

○松宮誠一学長再任，新人事発令さる

昭和55年5月31日をもって任期満了の学長職については、学校法人東京歯科大学寄附行為細則に則り、去る5月28日開催された法人評議員会ならびに理事会において全員一致で松宮誠一教授を次期学長に選任した。

また、同時に高木圭二郎教授を副学長、金竹哲也教授を学監、田熊庄三郎教授を大学院歯学研究科長、石川達也教授を歯科衛生士専門学校長にそれぞれ選任した。

なお、学長、副学長、学監、大学院歯学研究科長の任期は昭和55年6月1日より58年5月31日までの3カ年間であり、歯科衛生士専門学校長の任期は昭和55年7月1日より3カ年間である。

これに伴い新しい人事が6月1日付で発令されたが、機構上にも大幅な改編が行われた。

(新人事は前号掲載)

○フロリダ大学アレン歯学部長本学を訪問

昨年11月に本学の姉妹校となったフロリダ大学歯学部の Don Allen 学部長夫妻が初めて本学を訪問した。大阪での IADR 総会への出席を機会に5月29日来日、6月2日(月)午前10時に来学された。同日午前10時30分より西別館会議室で河邊同窓会会長、多くの本学教授ならびに国際渉外部委員出席の下に歓迎の会が持たれた。鹿島理事長ならびに松宮学長が歓迎の挨拶をされたのに対して、Allen 学部長は、来訪の喜びと共に姉妹校締結の意義を強調し、今後の積極的活動を約束すると挨拶された。そしてフロリダ大学歯学部教授会から本学教授会への記念品として写真アルバムが贈呈された。このアルバムはフロリダ大学にもあり、今後の姉妹校としての活動の記録を両校が保存するという主旨のものである。さらに姉妹校締結に努力した本学関係者にそれぞれブランクが贈呈された。その後、大学主催の昼食会をはさんで午前中は病院を午後は基礎系の諸施設を見学され

た。同日夕刻には、本学とゆかりの深い訪日中のカロリンスカ大学エリクソン名誉教授、NIHの Scott, Nylen 両博士と共に椿山荘での大学主催晩餐会で日本食を楽しまれた。滞日10日間、大阪の学会の他に熱海、京都をも味い、6月7日離日された。なお、Allen 学部長と松宮学長との協議によって昭和56年度に本学から派遣される3名の助教授は、それぞれ出張中フロリダ大学で1カ月間研修する事となった。

○Uthman 教授 (バッファロー大学教授，オーラルメディシン学)，市川病院を訪れる

Uthman 教授(ニューヨーク州立バッファロー大学歯学部，オーラルメディシン学教室)は、Thines 助教授と共に、第58回国際歯科学会、第8回国際口腔生物学協議会出席のため来日された。6月2日午前、本学を訪門され、学内を熱心に見学された後、学長と懇談された。同日午後、市川病院を訪門、加藤病院長の案内で、院内を見学された。市川病院歯科オーラルメディシン等のスタッフと、オーラルメディシンについて熱心な討議を交わし、親しく懇談された。

○第201回東京歯科大学学会(例会)開催さる

第201回東京歯科大学学会例会は6月21日(土)午前9:00より午後5:00まで、水道橋校舎第4教室ならびに第3教室において開催された。

一般講演は49題の多数に及び、個々の研究発表に対して熱心な討論が行われた。

なお、特別講演としては次の3題がもたれた。

1. 私の見た欧米の顎顔面外科について
重松 知寛助教授(東歯大・口外Ⅱ)
2. 欧米の法歯学寸見
鈴木 和男教授(東歯大・法歯)
3. 齶蝕予防への提言
竹内 光春名誉教授

母 校 だ よ り

○ 竹内光春教授最終講義

昭和55年6月8日をもって定年退職された口腔衛生学校教室竹内光春主任教授の最終講義が、6月26日第4教室において専門課程第3学年学生を対象として行われた。

教室は第3学年の学生はもとより、多数の聴講者のため立錫の余地もない程であった。

まず、松宮学長のご挨拶があり竹内教授の講義

が行われたが、内容は「学び方をめぐって」と題された先生永年のご研究、ご経験からしみ出たお話で、ご専門の口腔衛生学に関してはもちろん歯科医学を志す者すべてにとって最も重要であるこの道における「学門の学び方」について、例を引かれながら淳々とさすようにお話された。

講義終了後学生代表より花束の贈呈があり万雷の拍手が送られた。



定年退職の

ごあいさつ

竹 内 光 春

臨床の助手をしていた私は、ある日、故奥村鶴吉教授と呼ばれ、文部省でわが国の子どもたちの口腔衛生という、とてつもなく大きな仕事にとり組むことになりました。やってみると、まことにむずかしく、またロマンのある世界でした。

それが、またある日、突然、母校にもどることになりました。文部省で得た私の教育観は、自分の為すべきことを探り当て、たとえそれが教わったことのないことであっても、また、自分のキャリアにないことであっても、どうしても自分の為すべきことだと判断すれば、人から教わり、人の協力を得ながら大胆にそれに立ち向かうということでした。各地の小学校などでこのような指導をしてきた私は、大学でも同じであろうと考えてやっているうち、いつの間にか22年たってしまいました。

こんな考え方で、研究や教育をすすめることができましたことは、たとえその結果がささやかであっても、私にとっては悔いのないすがすがしいものでした。このような生活のできましたことは、歴代の学長先生始め諸先生方、教室内外の多くの方々のご寛容、ご援助のお蔭であります。去る6月8日、無事定年退職を迎え、翌日、名誉教授のご推挙にあづかりました。あらためて皆様方

に厚く御礼申し上げます。これからも、新しい立場でロマンを追うことができれば幸せだと思っております。

終わりに、母校の一層のご発展を祈り、これからも変わらぬご厚誼をお願いしてごあいさついたします。

略 歴

生年月日 大正4年6月8日生
本 籍 千葉県市川市市川2丁目420番地
現住所 千葉県市川市市川2丁目26番19号
学 歴

昭和8年3月 東京府立第3中学校卒業
昭和12年3月 東京歯科大学専門学校卒業
昭和13年3月 東京歯科大学専門学校研究科修了
昭和13年4月 歯科医籍登録(第25402号)
昭和34年5月 医学博士学位受領(慶応義塾大学医学部)

職 歴

Ⅰ. 東京歯科大学専門学校時代
東京歯科大学専門学校助手として補綴学教室、口腔外科学教室勤務

Ⅱ. 文部省時代

昭和15年1月 文部省嘱託として文部大臣官房体育課勤務
昭和15年7月 文部省体育官補
昭和21年4月 文部事務官
昭和21年5月 東京歯科大学専門学校において口腔衛生学の講義開始
昭和22年9月 東京歯科大学専門学校講師(非常勤)、昭和24年4月からは東京歯科大学講師(非常勤)として昭和33年まで講義を担当。この間一貫して学校保健主管課勤務。

昭和33年3月 願いにより文部事務官を辞職

Ⅲ. 東京歯科大学時代

昭和33年4月 東京歯科大学教授、東京歯科大学研究科指導教授、東京歯科大学歯科衛生士学校講師及び主事(後に、教務主任、監事、幹事)として口腔衛生学担当
昭和37年4月 口腔衛生学教室新設、主任教授として現在に至る。

○ 口腔衛生学教室主任教授交代

昭和33年4月以来長年にわたり東京歯科大学教授として勤務された口腔衛生学教室竹内光春主任教授は昭和55年6月8日をもって定年ご退職された。なお、竹内教授は昭和37年4月本校の口腔衛生学教室新設に当って、最初の主任教授に就任さ

れておられ、今回ご退職と同時に名誉教授に就任された。

竹内教授のご退職にともない、後任の主任教授には昭和37年本校ご卒業の前岩手医科大学歯学部口腔衛生学教室高江洲義矩教授が就任された。

また、主任教授交代に先立って、5月26日には竹内教授の最終講義が行われた。



口腔衛生学講座主任
就任挨拶

高江州 義 矩

このたび竹内教授（現名誉教授）の後任として口腔衛生学講座主任を担当することになりました。本講座は「奥村鶴吉記念口腔衛生学教室」として創設され竹内教授が展開されてこられましたこれまでの研究成果は海外においても高く評価されておられますので、このような伝統を継承する本講座を主宰する者としてはその責務の重大さを痛感しております。さらに、口腔衛生学は基礎と臨床部門と地域保健活動の三輪の連携なくしては成立しえない特性を持っておりますので今後よろしく御指導並びに御協力を切にお願い申し上げます。

さいわい、竹内先生は名誉教授として今後も御指導いただけることになりましたので教室員一同喜んでおります。なお、本教室は松久保助教授・高橋講師以下活動的なスタッフに恵れておりますので、今後、私は講座主任として本学並びに教室の発展に全力を尽して努力する決意しております。

しかしながら浅学非才の私のことでございますので、各位の皆様の御鞭撻御支援をお願い申し上げて簡単ではございますが就任の挨拶に代させていただきます。

略 歴

- 生年月日 昭和10年3月11日生
- 本 籍 沖縄県
- 現 住 所 沖縄県具志川市字嘉屋武164
- 昭29.3. 琉球政府立前原高校卒業
- 31.4. 東歯大入学
- 37.3. 東歯大卒業
- 37.5. 第31回歯国試合格
- 37.10. 歯籍第50687号
- 37.5. 東歯大大学院歯学研究科（衛生学）入学
- 41.3. 東歯大大学院歯学研究科（衛生学）修了
- 41.3. 歯学博士の学位記受領（東歯大）
- 41.4. 東歯大衛生学教室講師
- 44.7. 東歯大休職
- 44.8. 米国・ボストン市 Forsyth Dental Center, Staff Associate.
- 47.7. Forsyth Dental Center, Staff Associate 離職
- 47.9. 東歯大衛生学教室講師復職
- 47.9. 東歯大衛生学教室助教授昇任
- 47.10. 東歯大口腔衛生学教室へ所属替え
- 49.3. 東歯大退職（岩手医大歯学部赴任のため）
- 49.4. 岩手医大歯学部口腔衛生学教室教授就任
- 54.8. 岩手医大歯学部退職
- 54.9. 国立療養所沖縄病院歯科（非常勤）兼務で高江洲歯科医院に勤務
現在に至る

○学位記授与

- 第264回 (55. 4. 14) 合格 第265回 (55. 5. 19) 授与
- 杉崎 正志 (口外Ⅱ 第593号 乙313号)
- 佐久間重雄 (補綴Ⅲ 第594号 甲281号)
- 大澤 勤 (補綴Ⅲ 第595号 乙314号)

- 第265回 (55. 5. 19) 合格 第266回 (55. 6. 9) 授与
- 廬 俊雄 (矯正 第596号 乙315号)
- 戸村 善明 (解剖 第597号 甲282号)
- 李 炳允 (解剖 第598号 乙316号)
- 松本 園治 (薬理 第599号 乙317号)

母校だより

川口 充(薬理 第600号 乙318号)
林 甫(補綴Ⅰ 第601号 乙319号)
第266回(55.6.9)合格 第267回(55.7.14)授与
寺本 信三(保存Ⅲ 第602号 甲283号)
渋谷 俊之(保存Ⅲ 第603号 甲284号)
杉原 惇(小児歯 第604号 乙320号)
佐々木修二(微生物 第605号 乙321号)
天野 恭子(理工 第606号 乙322号)
岡本 全宏(解剖 第607号 乙323号)
井上 晃(生化 第608号 乙324号)

○ 来年度海外出張者決定

昭和56年度海外出張教員として次の4氏が決定した。

歯科麻酔	金子 謙	助教授
小児歯科	薬師寺 仁	助教授
歯科補綴(Ⅲ)	岸 正孝	助教授
市病(小児科)	山田善三郎	助教授

○ 海外往来

○ 重松 知寛助教授, 黄 國和講師(口外Ⅱ)
重松知寛助教授(55.5.18~55.5.27)と黄 國和講師(55.5.17~55.6.14)はスイス, チューリッヒで開催された第30回ドイツ顎顔面外科学会とチューリッヒ大学顎顔面外科25周年記念学会に参加のため出張された。また黄講師はその後大学の顎顔面外科を見学した。なお, 第30回ドイツ顎顔面外科学会において鶴木隆大学院生が Experimental Studies on Healing Process after LeFort-I-Osteotomy の演題で研究発表を行った。

○ 黒柳 錦也教授, 杉山 直助手(歯放)
黒柳錦也教授と杉山 直助手は米国オレゴン州ポートランドで開催された第5回国際歯・顎・顔面放射線学会に出席し, 研究発表のため昭和55年6月27日出発7月3日帰国した。なお研究論文 Comparison of Isodose Curve Patterns on Skin Surface by Three Panoramic X-Ray Machines を黒柳教授が発表し, An Estimation of Influence by Utilization of Rectangular Beam Radiation in Dental Radiography for

Population Dose and Collective Dose in Japan を杉山助手が発表した。

● 上田喜一前母校教授逝去さる

前東京歯科大学衛生学教室主任上田喜一教授は去る6月17日慶応義塾大学病院において, 肺性心のため逝去された。19日ご自宅において前夜祭を, 20日カセドラル大聖堂において密葬がしめやかにとり行われた。つづいて30日には昭和大学歯学部葬が厳粛に行われた。享年70才。上田教授は明治43年2月27日東京都出生, 昭和10年3月慶応義塾大学医学部卒業後同医学部衛生学教室に入室, 19年助教授昇任, 33年4月同大学を退職され5月東京歯科大学衛生学教室主任教授にご就任なされた。上田教授はご退職の昭和49年12月16日までの16年の長きにわたり, 教育・研究の分野で多大の貢献をなされ, 特に公害問題が社会一般の関心事となるに及んで, 国内はもとより広く海外からも業績が目され, 斯界の第一人者としてその足跡は世界各地に及んでいる。本校ご退職後50年1月より昭和大学歯学部口腔衛生学教室主任教授としてご活躍されていた。ここに謹んで哀悼の意を表します。

● 田中久兵衛理事逝去さる

本学法人理事田中久兵衛氏(77才)は, かねてから慶応義塾大学病院に, 入院加療中のところ5月24日逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

○ 昭和55年度父兄会定時総会開催

去る5月31日, 昭和55年度父兄会定時総会が水道橋専門課程校舎で開催され, 昭和54年度会務報告, 昭和54年度収支決算, 会則ならびに諸規程の一部改正, 昭和55年度事業計画, 予算案等の議題などについて活発な討議がなされ, 引継いで任期満了に伴う役員改選が行われた。新たに選任された役員の氏名は下記の通りである(敬称略)

役 員	
会 長 一戸 俊治	副 会 長 大川豊太郎
副 会 長 小池 将浩	常 務 理 事 西山 巖 (庶務)

母 校 だ よ り

常務理事 (庶務)	佐々木達夫	理 事	高橋 善夫	理 事	二階堂則彦	〃	杉之内芳郎
常務理事 (会計)	小山 実	〃	福田 博	〃	小野田 実	〃	今井 芳長
〃	市川 明彦	〃	池野谷 博	〃	橋本慶一郎	監 事	池田 清
常務理事 (共済)	飯田外茂男	〃	天野 恵	〃	矢島 忠夫	〃	山根 照人
〃	山 清	〃	佐藤 忠男	〃	吉田 浩		
常務理事 (広報)	坂本 優	〃	新藤 英一				
〃	田辺 明	〃	岩澤 正和				

なお、三島平左衛門，中野年朗，鈴木義政，下村一登の諸氏は，任期満了で退任された。

〇 人 事

定年 退職	教 授	竹内 光春(口 衛)	55. 6. 8	採用 助 手	市川 栄基(市病内科)	55. 5. 16
辞職	助 手	毛利 康茂(市病内科)	55. 5. 31	〃	高橋 哲也(市病外科)	〃
〃	歯科衛生士 専門学校兼 任助手	長竹 春美(保存Ⅲ)	〃	〃	若林 靖久(市病内科)	55. 6. 1
	助 手	竹中 信夫(市病外科)	〃	歯科衛生士 専門学校兼 任助手	岩田 節子(保存Ⅲ)	〃
	〃	林 保良(市病産婦)	〃	教 授	高江洲義矩(口 衛)	55. 6. 9
	〃	嶋田 均一(市病歯科)	55. 6. 30	海外出張期間延長		
	助 手 補	柴崎 壱美(生 理)	〃	講 師	小池平一郎(病理Ⅱ)	55. 6. 15~ 56. 6. 14
昇任				非常勤講師(継続と新任)		
	助手(副手)	飯塚由美子(生 化)	55. 5. 16	矯 正	盧 俊雄	
	講師(助手)	松井 恭平(保存Ⅲ)	55. 6. 1	保 存 Ⅲ	寺本 信三	
	採用 助 手	佐久間研次(解 剖)	55. 6. 5	〃	渋谷 俊之	
	〃	高橋 庸(補綴Ⅲ)	〃	小児歯科	那須ますみ	
	〃	湖城 麗(歯 放)	〃			

窩縁酸処理法と実施上の要点

東京歯科大学保存学教室 石川達也

はじめに

近年、窩溝填塞法および前歯歯冠色修復法として琺瑯質窩縁酸処理を併用し、レジン材料と琺瑯質を接合させ、辺縁封鎖性および保持力を高める術式が頻繁に臨床応用されている。そこで窩縁酸処理法についての概略を説明したいと思う。

窩縁酸処理とは

琺瑯質表面に酸性溶液を作用させるとブラーク、ペリクルが除去され、それと共に歯牙の表層は脱灰され、一部は表層から一様に溶解、消失するが同時に琺瑯小柱の走行方向に向って粗面構造ないしポケット構造の切り込みができる。この構造を酸蝕ポケットまたは、エナメルベネトレイションと呼んでいる。このように琺瑯質表面に酸性溶液を作用させると、1)歯質の新鮮面が得られ、あとから用いる接合材料のぬれ効果が高められる。2)琺瑯質の場合には、表層を粗造化させて、あとから用いる接合材料の接合面積を広げるとともに力学的な嵌合効果を増大させる。3)その表面に極性膜、すなわち水酸基が形成され、カップリング剤と化学的な結合が容易になる。などの利点がある。このように、窩溝填塞材の保持力増強に利用するためや、内側性窩洞の窩縁接合性あるいは辺縁封鎖性を高める方法として酸処理法は利用されてきた。そのほか外側性窩洞ないし複雑窩洞修復、すなわち切端破折や4級窩洞修復に応用されている。

窩縁斜面の酸処理方法

琺瑯質表面は、比較的酸に対する抵抗力が強いので、その表層を一層研磨して酸処理を行うと典型的な酸蝕ポケット構造が得られることは、広く知られた事実である。このことは、窩縁斜面部や

歯冠一部破折歯の修復の際に形成されるシャンパーベベル部の酸処理面に比較的良好な酸蝕ポケット構造を形成するものと思われる。次に酸処理の術式には、いかなる方法があるかを述べれば、小綿球、スポンジ片または、小筆で窩縁部や琺瑯質面に酸液を塗布する。その際、表面を擦過すると小ポケット構造を破壊してしまうので、酸液を表面に貼布するつもりで塗布する。また、ろ紙や不織布を必要部分の概形にあわせて切り取り、酸液をしみ込ませて貼布する方法も用いられる。この方法は、琺瑯質形成不全や唇面のベニヤ修復の際の酸処理に用いると良い。指示書に示された所定の時間酸処理を行ったならば、次いで水洗に移る。一歯について水流で5秒間、その上ジェット流で15秒間水洗したあと、15秒間気流で乾燥する。なお、酸処理を行った新鮮粗面は、修復填塞を行うまで汚染されないように注意する。

むすび

琺瑯質表面に対する酸処理の術式が一見、いかにも簡便なため、これを所定の術式で行わなかったり、酸処理による新鮮粗面を唾液、器械の尖端などで損ねるとたちまち、所期の効果が得られなくなるので、慎重な操作が望まれる。また、酸液濃度の高低にかかわらず、わずかな時間でも露出象牙質面に直接酸液を作用させると、歯髄に影響をおよぼすことは確認されている。そのうえ、酸液を窩縁部のみに塗布することは、臨床の実際上困難であるから、現在のところ歯髄保護法を必ず施すことが望ましい。

提供 東京地域支部連合会学術部

北から南から

日本全国各地域に居られます同窓の先生方は各地域で日々御活躍されておられますが、各地域の同窓の先生方の御意見を同窓会に反映すべく、同窓会の理事会には各地域の代表の先生方が居られます。地域同窓会の動きは本同窓会会報の支部の動きでも分りますが、各地の同窓の先生からの寄稿によって地域がらや土地がらをお互に理解を深めていただけるよう、地域からの理事の先生方にお願いし、新たに「北から南から」という欄を設けました。御愛読下さい。

松山と私の趣味

馬嶋 博（昭和17年9月卒）

春や昔15万石の城下かな 子規

松山駅に降り立つと先づ此の句が目につく。寝ころんで蝶泊らせる外湯かな、一茶 その風景まことにのどかな道後温泉である。松山城は日本三大平山城の1つ、市の中心にどっかり座する。その姿は市民にやすらぎを与える。殆ど木造復元され往時の威風が偲ばれる。観光松山 といっても名所旧跡が、さして多いわけではない。湯の町、句の町、城の町、位が目玉であろう。松山は有名な観光地、とは云えないが、永年住みついてみると 中々よい所である。新鮮な山の幸、海の幸に恵まれ、人情豊、又、近郊には車で、2、3時間の所に見事な溪谷、奇岩、原生林の面河、八釜、滑床、等の景勝地あり、それらが、私の写真の趣味と合致する。私の写真歴も下手の横好きで40年、子供の時、父のカメラで、面白半分に友人を

撮り、その目のつけどころがよい とほめられたのが 病みつきとなった。一人で山に入る楽しさは、家族の者たちから不思議がられ、危険視されている。

写真友達と おいしい空気を吸い乍ら、大自然の中で過す時間は脱ストレス剤となり、命の洗濯となる。又偶々自分なりに満足な作品でも出来るとその楽しみは、撮影の時の、難行、苦行、等、ケロリと忘れ、明日への活力を与えてくれる。松山を、雲1つない、よい天気の時に出発し、石鎚スカイラインに着いた時には、一天俄かに かき曇りひどい落雷に合い、命からがら帰松した事も再度あった。しかし、初夏の目に沁みるような、青葉、陽に映ゆる秋の紅葉、厳寒の白雪に覆われた石鎚の、曙光を撮る醍醐味は中々忘れないであろう。（四国地域選出 広報担当理事）

支部のうごき

東北地域支部連合会



昭和55年度東北地域連合会総会並びに役員協議会が6月14日岩手県花巻温泉佳松園に於て盛大に催された。母校より松宮学長の代理として金竹学監、河邊同窓会会長、板垣同窓会副会長を招き、宮田岩手県副支部長の司会のもとに会議は進行された。最初に当番県の金子岩手県支部長が挨拶の後、鈴木岩手県歯科医師会会長代理、河邊同窓会会長、金竹学監の御来賓各位より御祝辞をいただきました。金竹学監には、新しい稲毛校舎の陣容をスライドを用いて御紹介いただきました。

次いで恒例により金子岩手県支部長を議長に選出し、福島県の入江先生より前年度の事業報告がなされた。特に、昨年東北地域連合会の会旗が本部より送られたことが述べられた。さらに福島県鈴木理事より会計報告がなされた。議事に入り、

同窓生子弟の入学に関して協議がなされ、金竹学監から大学は最大限の配慮を行なうと解答がなされた。なお今後は受験される子弟については支部長を通じて大学へ連絡を受けたいと希望が述べられた。次いで「連合会の役割を考えよう」というテーマで討論が活発になされ、金子岩手県支部長の閉会により総会は無事終了した。

次いで河邊同窓会会長の永年に渡る先生の臨床経験のエッセンスともいえる御講演をいただき会員一同熱心に聴講した。

その後緑萌える中庭に於て、記念撮影後、夕刻より諸先生を囲んでの懇親会は話しに花が咲き、つきることなく夜遅くまで続けられた。

担当、岩手県支部。

京 橋 支 部

部歯政連解散式と重った7月31日、皇居前パレスホテルに於いて東京歯科大学同窓会京橋支部の時局懇談会が開かれました。当会の目的は、参議院選挙で盛り上がった支部の協力体制を今後も維持していくためと、選挙中に自分の仕事も犠牲に

して奔走された政連支部長の労をねぎらうものです。

来賓として、関口恵造先生・後援会幹事長山崎文男先生・日本歯科医師会会長山崎数男先生・同窓会副会長伊丹一男先生が出席されました。

支部のうごき

今回の選挙結果が予想以上の得票で成功したのは、過去の反省に基いて早手廻しの準備をしたことや何度も繰り返し協力を呼びかけたためだと思います。京橋支部では、盛り上がった協力体制を3年後6年後へと固く維持して、日頃バラバラな開業歯科医師の意識を1つにまとめて大きな力に結集させたいと考えます。今後も歯科行政に関する問題は山積みの状態ですし、1人ではどうにもならない問題をグループ或いは組織力で解決するという習慣を持ちたいものです。こうした考えを支持して下さる先生方によって7月31日の支部会は盛況に催されたのです。

当選後、各方面からの祝賀会や挨拶廻り、授又お忙しい公務の最中を、関口先生は特に京橋支部のために時間をさいて下さいました。折から都歯政連解散式と重って、他の来賓の先生方や京橋歯科医師会の会長・政連支部長等と相前後して到着、宴半ばではありましたが当選と今後のご活躍を祝って乾盃、各先生からご挨拶を戴きました。

日歯会長山崎数男先生は、「今回の当選は同窓生を中心とした歯科医師会の総力の結集によるもので、京橋支部の活動は特に目を見はるものがあった」と強調されました。

続いて、関口恵造後援会幹事長の山崎文男先生は、「地元埼玉県に次ぐ大票田となる東京に期待して、10万票を目標に同窓会へ徹底した協力要請をしたこと」など苦労話をされました。いずれの支部からの誘いも辞退していた関口先生に、京橋支部の健闘に報いてほしいとお願いして出席にまで準備して下さいしたのは、実は山崎先生でした。当日、日歯会長の数男先生をお連れ下さったり、

今後の協力体制維持を切に願うお気持ちが伝わってきます。

同窓会を代表して副会長の伊丹一男先生は、「同窓から揃って3人の国会議員が誕生されたことは誠にめでたい」とお祝いを述べられ「寄附金の協力も日を追って目標額に近づいているため、大変ありがたく思います」とお礼の言葉も添えられました。

さて影の功労者である政連支部長岡一夫先生も、「全体で93万票、東京都で6万4千票という歯科選挙最高得票が記録され、努力のし甲斐があった」とうれしい感想が述べられ、「中央地区では741票の得票だが、専住人口の少ない地区で知名度の高い他候補を除くと丸茂候補を追い抜いている」と分析されて支部の努力を評価されました。

京橋歯科医師会大山会長も、「歯科医師会を側面から盛り立て、リードした同窓会の力は有難い」と強調されました。

最後に関口恵造先生から、「1年生議員で何分にも不慣れではあるが、歯科医師としての指命を誠意で補い頑張る」こと、更に「我々の現状を理解してくれる議員を1人でも多く作る」ことなど抱負が述べられました。自ら進んで火中の栗を拾う覚悟で、新議員では唯一人の社労委員に就かれたことでも、意欲の並々ならぬことを察します。

お開きも近づいて、一同関口先生の今後の活躍を祈って万歳三唱をしますと、関口先生自ら、京橋支部の発展を祝して再び万歳を叫ばれました。非常に意気高揚とした会合となりましたことをご報告しました。

(佐藤 元記)

神奈川県横浜北部支部同窓会懇親会

去る9月23日横浜北部支部連合会の懇親会が国鉄横浜線中山駅近くの栗林で行われた。当日は井上名誉会長、伊丹副会長、広報理事が招待された。会員も家族連れで100名以上の出席であり田

熊教授も列席される当日は快晴ではなかったが暑くなく寒くなく風もなく快適な日であった。会員も家族づれのレクリエーションで会場にはとうもろこし焼、お赤飯、おでん、焼そば、綿菓子の各た



べもの屋を会員の家族が行い和気あいあいの中に矢島会長の挨拶に始まり招待者の挨拶及び紹介が行われ周囲の栗林で栗拾いが始まった。立派な栗が皆の手でイガから出されおまけに银杏迄も拾うことが出来た。ドイツワインのサービスもあり昼間からよい気持になってしまった。奥様やお嬢さんのサービスで御馳走のたべ放題で会場の真中には氷水や梨を自分でむく機械迄そなえられ子供達は上手に皮をむいている。午後になってから別の場所でさつま芋掘りが行われた。土の中に手を入れると大きな芋がごろごろ出て来る。嬉しい歓声があちこちで上る。少し掘ると4kg位たちまち

である。元の会場に戻って又御馳走をたべ子供には楽しみ袋が配られる。それから校歌の合唱である。全く気のきいた企画である。空気は良い気候がよく懇親会の企画としては満点である。会員相互の親睦の大自然の中でとけ合って本当に楽しい1日を過ごすことが出来た。同窓会の企画としては準備する先生は大変なことであろうと思うがこのような計画が出来ることは幸せなことだと思う。幹事の先生方は本当に御苦労様でした。ポラロイドの写真迄いただいて会場を後にした次第である。横浜北部同窓の皆さん本当にありがとうございました。(広報 中村記)

クラス会だより

昭 伍 会

昭和9年卒



去る5月22日午前8時上野駅を発って仙台へ向った。正午各地のクラスメートが1人の遅刻するものなく到着し、再会を喜び合った。

午後1時仙台駅をあとにバスで本塩釜に到着、遊覧船で松島海岸を経て瑞巖寺並びに五大堂を観光し、午後4時20分にホテル大和に到着。一休みして夜6時30分に総会に移り、渋谷君の挨拶並びに会員の近況報告があり、昨年来死去された成田清、小山映二、高橋兼亮、伊東正明、国定政之助、猪狩政人の各位の霊に黙祷を捧げ衷心より哀悼の意を表した。次いで石井安治君夫妻の昭伍会親睦総会への毎年出席をたたえて仲好賞（九谷焼花瓶）を贈る。

いよいよ宴会に入り、きれいどころをまじえ夜の更けるのも忘れて歌って躍って賑やかな一夜を過した。

23日早朝昨夜からの楽しい夢覚めやらぬうち朝食をとる。服部、村尾両君から動議が出される。昭伍会のように会費の無い会はない。少くとも運営費位は出し合おうとの提案である。年間1万2千円を会費として決定し、さらに、役員諸氏と相

談し、昭伍会員全員に明年2月か3月に集めるべく通知することを決めた。

23日は快晴にめぐまれ、ホテル大和を9時出発、一の関巖美溪に毛越寺、中尊寺（中食をとる）を経て花巻温泉に午後4時40分到着。少休止の後昨夜とは趣向を変えて中学時代の昔話や手拍子揃えての楽しい宴が開かれた。

24日快晴、10時ホテル花巻温泉を出発、宮沢賢治の史蹟を見学、花巻空港を経て花巻駅へと明年を期し帰路についた。（栗原記）

明年は5月21、22、23日、白浜温泉、勝浦温泉の南紀方面に行くことを内定。詳細はいずれ通知致す。御期待下さい。（渋谷記）

出席者

鍋島 進、宇美房敏、樋口 梓、藤村 博、
石井安治、薮 多作、以上同伴組
服部敏夫、増田喜久次郎、武藤 悟、
栗原修治、田村致和、倉田 勉、村尾 栄、
岡本保和、小山一雄、山口 亨、飯島襄治、
竹内民勝、渋谷孝磨

五 十 一 期 会

昭和20年9月卒

1) 誕生日祝(10月, 11月生)

10月: 1日千保君, 3日岩崎君, 5日櫻井(正)君, 8日永石君, 9日寺本君, 13日森(繁)君, 18日海野君, 26日白崎君, 米津君

11月: 1日上脇君, 7日武井君, 19日松尾君, 24日木下君, 25日有馬君, 高石君, 26日斉藤(仁)君, 大木君, 28日鶴岡君, 30日田上君。

上記の学友諸兄おめでとう!! いついつまでも元気でやすやかであります様に。乾盃と拍手…。

2) 51期会35周年記念総会開催の報告

待望の記念総会が5月22日青森県浅虫温泉南部屋別館で開催され多くの学友と奥様が続々と参集し北国浅虫は51期会で花盛りとなった。35年夢の如くすぎ顧みて昔日を偲べば感益々深し。学生時代の猛者も蓋世の英雄老来を嘆く年代, 時移り世は変り年すでに久しい。光陰矢の如し流れて早き月日かなとしみじみ思う。世もたけ心さえて道ある友人の数々積善の余慶家々に普く広き道とか

や。まず櫻井代表幹事の開会と新幹事紹介後, 逝去された永井(源), 杉山(忠) 両君にもくとう又富村, 溝呂木両君に御見舞を報告, 会務会計報告後中村前代表幹事に4年間2期に渉る数々の尽力された貢献に対し記念品贈呈を行なった。君の尽された成果は長く51期会の上に輝くことでしょう。さて来年の総会は北陸地区富山県ブロック代表の千保君のお世話で春に開催と決定, 秋は母校千葉校舎を病院長高橋(庄)君のお世話で見学する計画です。大いに期待したい。全国の学友諸兄には今から予定され多くの参加を希望し期待しています。やがて盛大な宴会に移り久方ぶりの再会で互いに盃をくみかわして頼みある酒宴はムード最高潮, 歓談には花が咲き何時果てるともなく深更まで続いた。玄人はだしの芸達者な学友達の余興には目をみはるばかり, 51期会ならではの興趣が華麗にくり広げられた。準備万端つとめてくれた波多野君に厚く御礼を申し上げます。なお並木幹事の芳情に深謝します。(鶴岡 記)

弥 生 会

昭和54年卒



私達が東京歯科大学第84期生として卒業し, はや一年余の月日が流れました。同期の皆様には益々御清栄のことと存じます。さて, 去る7月6日

(日), 卒業後初めてのクラス会が高輪プリンスホテルにて挙行されました。

当日は竹中名誉教授, 坂田, 溝上両教授をはじめ

め、進学課程より卒業まで御世話くださいました各学年時クラス主任副主任の先生をゲストとしてお迎えし、出席者一同久しぶりに学生に戻った様な気分で和やかな一時を過ごしました。この一年余の間には同期諸兄弟の中にも様々な変化がございまして、卒業後直ちに御結婚された稲野君、久保さん、鳩貝君ももうすでに一子のババママとなられ、他多数の方々が御結婚されあるいは予定されておられます。また中には同類相憐れむで同期生同志のカップルも何組かございます。いささか失礼ではございますがこのクラス会だよりにて“おめでどうございます”を申し上げます。

その他では、遊学組の方、開業組の方もちらほ

らとありますし、御気の毒にも闘病生活を経験された方もあります。まだまだ先は長いのですから皆様くれぐれもからだには御自愛下さい。

最後に、掲載の写真はクラス会当日のものです。ごらんのように出席者が約60名クラス全体の1/3という寂しさでいささか拍子抜けだった感があります。幹事にも責件はありますが次回よりは、一層皆様の積極的な御出席をお願い申し上げます。(出席者氏名は写真にて省略させていただきます)

尚、次回クラス会開催地予定は、関西地区にて、幹事は、稲野君・大久保君に、クラス総会にて決定しました。(文責 川口 浩)

第20回定期演奏会 開催のお知らせ

東京歯科大学混声合唱団は本年で20回目の定期演奏会を向えることになりました。つきましては、下記の通り記念演奏会・懇親会を催すことになりましたので、御案内いたします。

(演奏会)

昭和55年12月7日(日)午後1時30分

中央会館(銀座)

東京歯科大学混声合唱団、OB・OG合唱団、日本フィル室内合奏団

(懇親会)

昭和55年12月7日(日)午後4時30分

ホテル 銀座「ダイエー」

OB・OGの方には、別途ご案内申し上げますが、連絡洩れの場合でも是非共ご来場お願いいたします。お問い合わせは、OB合唱団幹事までお願いします。

連絡先 OB合唱団幹事 八百枝(262-3421 内線341) 中崎(内線546)

○第2回東京都立大久保病院歯科同窓会開催さる



都立大久保病院歯科は昨年の昭和54年3月を以て創設40周年を、同時に同病院が開院50周年を迎え折しも1年半掛りで新築成った新外来棟の2階に当歯科が移転したばかりの好機をとらえ母校大学当局に御連絡の上、3月3日に都立大久保病院歯科同窓会の発会式を学長（代理 羽賀副院長）、山本義茂前病院長、高橋庄二郎現病院長の御臨席を得て華々しく挙行したことは既に拙文を以て本紙上に掲載の通りで、他に同類の例がないことからよくやれたと各関係方面から多大の関心を得たことは誠に御同慶に堪えないところである。本年は発会当日の申合せ通り即ち昭和55年3月3日午後5時から第2回都立大久保病院歯科同窓会総会が前回と同じく近くの新宿地球飯店で挙行された。当日は生憎く母校東歯大卒業式とか他では所属歯科医師会の役員会等にぶつかり当然出席の予定で欠席の止むなきに至った方が数名あったが、その反面初めて出られた方々があり、総勢15名の参集により終始和やかに夫々当時の昔話しに華が咲き宴の尽きるところなく盛大にとり行われた。懸案である本会の名称は燦久会と命名された。この由来は40年の歴史と伝統を受継ぎ今日迄の水道橋出身同窓生の輝やかない実績をたたえ且つ大久保病院の字句の「久」をいくひさしく永久に伝わる様とり入れて日常はサンキューと同じ釜の飯を喰った者同志の合い言葉として楽しい会であることを念じての愚案を述べた結果満場一致の賛同を

得て決定されたので以後御承知の程をお願い申上げる。

次に会としての永続性を願って次の如く会長千寿誠、副会長佐々良、監事関田實の三氏に決定され、事務局を都立大久保病院歯科に置き常任幹事を同歯科医長とするということになった。

次に会の開催については、半年に1回或はもつと多くてもいいという案もあったが、年1回総会を開催することとなり、会の日としては3月は種々会の多い月であることから、避けることの提案通り、来年は桜の満開の季節4月のお花見の頃上野あたりで開催してはどうかとの希望多数であった。どうか会員各位には万障今から御繰り合せ頂き御参集の程を御願い申上げる。

参会者写真により紹介（敬称略）前列左より、新保美信（S.16卒）、佐々良（S.10卒）、千寿誠（S.10卒）、太田稔（S.16卒）、筆者（S.19.9卒）（都立大久保病院 飯田精一記）

中列左より、故安東猛医長夫人由起子、堀川佳津子歯科衛生士（東医歯大附属歯科衛生士学校 S.38卒）、田中絹子（旧姓小森、東洋女 S.22卒）、保坂利之（S.19.9卒）

後列左より、関田實（S.22卒）、高野文夫（S.16.12卒）、渥美達郎（S.18.9卒）、千野忍（S.25卒）、鹿野善孝（S.19.9卒）、久木留広明（S.50卒）以上、

すいどうばし

会員寄稿欄



苦楽を共にしたゲルマン・ナチスの ヒットラーユーゲントは今

続 第二回

井口 岳久 (昭和12年卒)

ノモンハンの想い出
蒙古桜よ芍薬と百合も咲いてる高原に
決死誓ったあの時のホロンバイル空の色……

冬は凍て夏は流れてウスリー江
激しきいく なかりし如くに

徒歩行軍によって暉春—クラスキノ—ポーシ
ェット岬、クラスキノの環境は不自由勝乍らま
だ恵まれていた。シベリヤの遙か地平線の彼方
まで大草原地帯を過ぎてウオロシーロフ、イー
マン、ハバロフスク、ウスリー江へまたぐ大鉄
橋を亘って黒河の対岸にある雄大な風景を見
乍ちチタ、イルクーック、琵琶湖の約50倍と
云うバイカル湖に小休止をした。ノボンビル
スクを過ぎてウラル山脈の緩徐な斜面を通
過し7日程は毎日地平線とヨーロッパ大陸
の自然を茫然と見送る汽車の旅が続いた。

モスクワ駅(8つある内の1つ)に着いて柔
軟体操を平均がとれないまま危かしい足取
りで終り、ホームの上で給水補給を一応型
通りに終り出発、列車は南下を続けている
のに気がついた。世界第1の採炭率を誇る
ドンバス炭坑の真ただ中へ向かいつつあ
るのであろう、夕陽で赤い西の空だ

った。砂煙に包まれて十輛許りのトラック
が待っていた。又今年の冬はここで過ぎ
なければならぬのかと思うと心が沈んだ。

戦友達の驚きと羨望の眼を受け乍らウ
ライナ、アルチヨムスク→ニキトフカは
地主や警察官、教職許りビクアップさ
れ洗脳教育を受ける為軍都チグユーへ
、そして輸送中列車が東に動く度に声
を上げて喜び、西に向えば皆は沈まり返
っていた。捕われの身の現実を忘れる事
が出来なかった。1mでも2mでも日本
に近付いてほしかった。この線路の下
には蟻の平和な世界がありいっそ自分
も蟻になりたいと思った。バイカル湖
で泳いだ時も湖底に潜っている時だけ
自分の自由な世界があるのだな。我々
は軍隊と補虜と云う獄につながれて
いるやり場のない、絶望感に悩まされ
た。

やがて下車の指令と共にチグユーの
駅頭から收容所まで行進した。

チグユーは軍都で朝早くからフォック
・ウルフやメッサーシュミットのドイツ
が誇った新鋭機許り上空を乱舞した。我
が方の懐しい偵察機がこの地に1機だ
けあるのに気付いたのは1週間後の事
であった。

山の頂きはまだ白く被われていた。い
くら自然

の美しさを味っていても捕われの身の現実を忘れ去る事は出来なかった。夜目にもくっきりと収容所を取り囲む有刺鉄線の塀があった。

この収容所がヒットラーユーゲントとの初めての出会いであった。

所内のユーゲントは孤独に耐えている者だけが持つような静かな淋しさを漂わせていた。彼等の内務は今尚整然として収容内の秩序は昔と変わりなく行届いて、唯皆が疲労でやつれ、不安と恐怖に打ちひしがれていた。グーテンモルゲンの挨拶は確実に交わされていた。私には発音上グッドモーニングとしか聞えないのが不思議であった。今からユーゲントが作業に出ると云う直前、私はドイツ語の新聞を大きい声で朗読した。驚いたのはユーゲントの方で約20名位ですぐ集って来た。

チグユーの収容所は総じて階級意識が薄くなっていた。人間関係も荒んでいた中にユーゲントの内務は整然として平常規律のあるしかしその中にユーモアを失わない。ユーゲントは夫々長期間を覚悟して反って落着いていた。

日本軍事捕虜の間では喧嘩やいがみ合いは絶えまなかった。ユーゲントには内輪もめが全然なかった。しかも原地生活の意味からしても雑穀配給分を作業終了後脱穀加工しマンジュウを作っていた。

ロガン収容所では休日全員日光浴を楽しんでいた。ユーゲントのドクトルが収容所の衛生、疾病の治療をやっていた。このドクトルは私達に好意以上の信念を持ち、日独伊同盟国についてもこの親切さは身に余る幸福感を味合っていた。作業場で怪我をした時は即刻作業休みの手続きと休養する事を惜しまなかった。日本が平時でも軍隊で自分の洗濯場で監視しなかった自分の洗濯物を紛失してしまうのである。ナチスには此の様な躰が人間の社会の掟と云えるだろう。人間の踏むべきルールが確立される様に思われる。人の物に絶対触れない、無論物を盗ろう等という事などは今迄1度もあったわけではない。ユーゲントの社会観念は実に立派であった。

又収容所の理髪所はユーゲントが握って居り、その丁重さには全く驚きの他はなかった。ヒゲ削

りは口の周りだけであった。

作業場ロガンは約20km 停車場（ナースタンツェ）ではバルバクリンやアゼゼカゼゼなど重要な機械の操作はユーゲントに押えられていて日本人は下働作業している状態であった。

チグユーでユーゲントの自主性のある社会の模範になる生活態度に魅せられて了った。作業場では操作は巧であり休憩時間でなくとも機械を任意に停止して日本人の作業を側面から庇ってくれたのでホッと一息つけた。その間ロスケ警戒兵は故障個所の発見に汗だくであった。

ロガンでは給水もユーゲントの馬車によって行われたが、水槽の中にも獲り立てのポミドール（トマト）が数多く入っていた。作業が終わってから飯盒に一杯のトマトが約1ルーブルで我々の班にやって来てビタミンCの補給に買って食べたものである。商魂逞しいと云うかお互いに持ちつ持たれつではある。けれどもユーゲントの社会性は一日置く事を余儀なくされていることであった。ロガンでよく食べたのはニラとアザミとヨモギで、ヨモギはお節句の頃のヨモギ餅が懐しい。野草の知識は大体ついていたのでビタミンが決定的に不足する事は無かった。九月からはコルホーズからの収穫もあり作業が終わってから塩味でキャベツ他野菜カルトーシカ（ジャガ芋）等の雑炊で食料事情は良く天国と地獄程の差があった。

延吉の646の収容所（他に28収容所もあった）では発疹チフス、失調症が多く栄養失調で死ぬ時は静かなものだ、苦しみがなかった。話す力も、目を開く力も、体を動かす力もない。遺言らしいものもない。譬、遺言をした所でそれが日本の家族の所まで伝えられようとは誰も思っていなかった。我々生き残った者は時とすると死んだ者達を羨ましいと思う事があった。不思議なのは人間には死相の様なものが死ぬ前に必ず現れてくると云う事である。死者を埋葬するには戸外では凍結しているので1時間掘っても約5cmしか掘れない。火葬に使用する薪が少ない悪条件が重なり春の解氷期を待つより外はなかった。

ハリユフで抑留中の或る日の午後、ゲルマンユーゲントの楽団が慰問に来た。一行は約30名独



逸軍事捕虜である。今は捕虜としての服装に身を包んでいるが、第一、第二バイオリン、ビオラ、ビッコロ、チェロ、バス、アコーディオン、フルート、トライアングル、カスタネット、シンバル、タンバリン、バンジョー、他打楽器ドラム大中小、小太鼓、手製のものもあり、ニキトフカの収容所でポール中尉（建技中尉）と親しかったユーゲントの1人が第一バイオリンを弾いているのには驚かされた。満場の日本軍事捕虜、ソ連軍医務員一同は旋律の勝れた曲に酔わされた。

第一部は勇壮なドイツ行進曲に始まり圧倒的な豪華な演奏は堂を押し数曲。第二部は懐しい日本歌曲集及び太平洋行進曲、特攻の唄、関東軍の歌。第三部はポピュラーな映画主題曲。第四部は再び勇壮極まりないドイツ行進曲。血湧き肉躍る思いで絶賛の拍手を惜しみなく送った。この中で

演奏された日本民謡集程、日本の民謡がいいものだと思った事はなかった。

ナチスのヒットラーユーゲントは今、東ドイツで夫々責任のある老兵は死なずの一端を受け持って社会の一員として現在尚活躍を続けて居られる事だろう。

世界平和を祈って、東ドイツの健闘を祝福して成功を念願するものである。 合掌

“恩師村瀬正雄先生を偲ぶ”

鶴岡清一（昭和20年9月卒）

“巨星落つ”という言葉がふさわしい村瀬先生が昨年11月26日聖路加国際病院にて肺癌で亡くなられた。わが国の歯科界発展のため国際的舞台に情熱と身命を捧げ尽力された師の貢献は永久に長くその名をとどめることであろう。先生のご指導をうけた長い年月の様々な思い出が走馬燈の如く眼前を去来してゆく。その中から強烈な印象とし

て今でも私の脳裡に焼付いていることを少し書いてみようと思う。私が始めて村瀬先生とお会いしたのは都立大塚病院に伺った時で当時私は補綴学教室におり指導主任教授の補綴部長又剣道部長であった恩師溝上先生からご紹介を頂き今でも忘れない昭和21年10月1日であった。「母校の溝上先生が奥村校長の推薦状をもってじきじきに足を運

んで来られたのだよ。君もしっかりやってほしい、よろしくたのむ」各科に挨拶を行いその日から勤務することになった。初対面から人間形成の自主独立を云われ有難く感謝の意を表し「どうかよろしく御指導をお願いします。」この時点で師弟関係が歩みだした。暫らくして或る日、現在では殆んど遭遇する機会のない Mundboden Phlegmone の患者が開業医から紹介されてきた。早速手術の準備にかかった時、副院長で外科部長の高島先生が数名の医局員をつれて突然足早やに来られ「村瀬君この様な症例は外科に廻し給え！今迄の通例に従ってほしい」と語気強く云われた時村瀬先生は丁度術前的手指消毒を行っていたが「高島先生この様な症例は口腔外科領域の臨床で日常しばしば遭遇するのです。どうぞ納得のゆくまで手術をごらんになって下さい」そう云われておもむろにメスをとり手術が行われた。この時卒業後2年目の私は社会的地位の評価を真剣に考えさせられた。以前の歯科部長が外科に送っていた関係もあるが先生の立派な態度に敬服した。手術途中で高島先生は去ってゆかれ手術が終了医局に戻った時「外科学会を代表する高島先生の認識不足も甚しいな、もっと歯科口腔領域を勉強してもらいたい」と万感胸に迫る言葉で話をされた。先生は歯科医師と医師の資格を有するので特に切実な思考批判をもたれたと思う。又私に当時死亡診断書を3通書く機会を与えてくれたことも感謝している。「医局に何年いても書けないのに君は卒業2年目で3枚も経験するなんて幸せだよ」全く有難いことで感謝の他なかった。やがて教授として東京女子医科大学に移ってから教育、臨床、研究、学会、医政等実に広い視野に涉って八面六臂の大活躍を実行された。私も引続き御指導を賜った。Streptomycinの血中濃度の研究を内科に派遣されて続けたのも今はなつかしい。その後私は教室に在籍のまま命により三金へ勤務し学術研究部長と研究所の所長代理(現在精密鑄造KK)を兼任していたが先生から電話ですぐ来る様にと云われ伺った。「君は出張もあるし忙しいと思うが現在の立場上学位の肩書が必要だ。理工学のテーマで取得す

るのがよいとも思うしかし君は俺の門下生なので学位審査権があるし旧制は昭和35年3月末迄となっている。研究に取組んでみる教室の二大研究テーマの構想を憶えているだろう。その1つ局所麻酔の研究なんだよ。まず製薬会社に麻酔薬を提供してもらう様手配することと文献を集める様に。生理の富田教授には話をしてあるからすぐ準備にかかれよ。只この研究は実験が冬の期間しか出来ない室温の制約があるが君は幼少の時から剣道と居合を修行して体が鍛えられているので充分やれると思う。文武両道の達人になって溝上先生とオヤジさんの期待に報いろよ。先生から云い渡された時場が豆鉄砲をくらった様に返答に困って間があいてしまった。自分自身に挑戦しておのれに勝てという温かい御指導、こんなにまで私のことを考えて下さる先生のお気持ちに対して無理を承知でやる以外なかった。そして数年後研究も一段落して論文を提出し故久慈学長から学位記を授与されすぐ先生に報告した時「よくやった、本当によくやった」といって私の肩をたたいて破顔一笑、喜んで下った先生の面影は私にとって終生忘れることがないであろう。又約12年前紐帯で開催された第3回国際口腔外科学会と第50回米国口腔外科学会年次大会に「君も俺に随行して一緒にゆかないか？国際的視野にたつて大いに見聞を広めろよ」と云われ、先生に随行して国際学会と各地著名大学歯学部視察と全米歯科医師会の正式訪問及び開業医の見学など大変勉強になった。先生のキメの細い御配慮に感謝の意を表した。その後先生は望まれて東北歯科大学の学長になられ益々歯科界の将来に向って卓抜な敏腕を期待されていただけに、まだまだお元気で活躍してほしかったと思ひ他界されたのは残念である。先生との長い師弟関係の一端をせめてもの思い出として、なつかしく往時を偲びながら脳裡によみがえるままにペンを走らせた。万山重からず師の恩重しである。終りに幽明境を異にした今、明潔院釈正雄碑礫浄誓大居士正定聚位の靈に心からご冥福を祈ると共に哀悼の意を表します。先生安らかに永久の眠りについて下さい。合掌。一周忌を控えて。

「ガ島」に散華した北海男児・菊島晴幸君

松川 健二 (昭和13年卒)



その当時の一クラスには北海道出身の学生が8名から10名在籍していて、その中で体格のいい者とか世話ずきの男とか何かにつけてグループの中心となって動き廻る奴が「熊」と呼ばれ、それは多分に道人への愛称的な要素を含んでいて、人気者

の別名でもあった。昭和13年卒の昭久会の菊島晴幸君も「熊」とよばれ「ハツコ」で通ったクラスのアイドルであった。空知の赤な市に生れ滝川中学を卒えて東歯に入った彼は骨太の偉丈夫で、髭髯や眉毛が濃く応援団長然とした風貌で、性格は豪放磊落であった。彼は昭和14年ノモンハン事変に従軍、昭和17年5月に応召北郎第四部隊一木支隊に入った。昭和54年1月発刊の戦記、ガダルカナル作戦「一木支隊会滅」に彼の奪戦が記録されている。一木支隊はミッドウェイ島攻略作戦のため現役兵とノモンハン帰りの召集兵の2000名で編成され、指揮権は大本営直轄であった。昭和17年8月7日米軍はガ島に大兵力を上陸させ飛行場を占領した。ガ島奪還の命をうけた一木支隊はトラック島を出発8月18日全員白樺でダイボ岬に上陸、35軒離れたルンガ飛行場まで夜間行軍、飛行場近くの「中川」に到着した。彼の属した小松重機関銃中隊は中隊長小松重直大尉、第二小隊長長田幸三郎少尉、第二分隊長中山正明伍長、隊員は菊島上等兵以下10名。中隊は3個小隊からなり全部で8分隊、1分隊に重機関銃1銃、8機の重機は猛然

と火門を開き敵陣攻撃、続いて大隊砲聯隊砲も火蓋を切り、此所に壮然なるガダルカナル戦は開始され、数時間の間に777名の戦死者を出すに至った。中隊は対戦車戦闘にきりかえ、重機は戦車の弱点であるキャタビラに集中攻撃をかけると、「やったぞッ」戦車はキャタビラを切られて停止、然し重機もまた敵弾にやられて使用不能となる。残る手段は手榴弾しかない。菊島上等兵は眼前の戦車に向かって走り「これでもくらえッ」とどなった。手榴弾は轟然と炸烈、戦車はそれきり動かなかった。この時米軍の報復攻撃の弾は菊島上等兵を貫き壮絶なる戦死をとげた。8月21日午後3時である。8月23日から1週間米軍の捕虜となった海軍軍属工員（非戦闘員）により戦死者の遺体は「中川右岸の椰子林」に埋葬され闘魂は永久に南海の孤島ガダルカナルに眠り一体の遺骨も還っていない。昭和19年4月25日「論功行賞」が発表になった。

殊勲甲、功六旭七、伍長菊島晴幸、

昭和54年5月、卒業41周年の昭久会総会が高野山で開かれ、亡き級友の追悼法要をあげた。6人のご遺族も参列し中に彼の弟さん菊島美次氏もいた。氏の参列は年がはなれていたのでよく兄のことを知りません。いろいろと兄のことを知りたくてとの願いであった。南紀白浜温泉の懇親会場で氏は法要参列を謝し、兄を偲んでと知床旅情を歌った。「知床の岬にハマナスの咲く頃」北端の旅情に托して兄を懐く声は南紀の濡れた白砂に切々と吸われていった。戦功を語ることなく散華した菊島晴幸君。君の烈々たる祖国愛と輝かしい武勲は戦記に明記されて立派に後世に伝わる。闘魂の安らかなる御永眠を祈り黙祷を捧げます。

◆原稿応募規定

原稿締切りは奇数月の10日で、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

投稿は原稿用紙に横書きをお願いします。便箋などのご使用はご遠慮下さい。尚この会報専用の原稿用紙(22字×10行)も準備してありますから、必要な時に請求して戴けば、お送りします。

随想、詩、短歌、時評など、寄稿は1編1,500字以内ぐらい、クラス会だよりは700~800字程度でお願いします。よろず告知板も、ご遠慮なく御利用下さい。

折角ご寄稿戴いても、規定字数を超える場合は、掲載いたしかねることがありますのでご諒承下さい。

「私のアルバム」の材料などは、ほとんどの皆様がお持ちと思います。簡単な文章をつけて是非ご提供下さい。また古い思い出の写真など、お貸し願って誌上で昔のよしみを温めたいと存じます。

原稿及び写真は原則としてご返却いたしません、特に貴重な写真などの場合はその旨お書き添え下さいればご返送申しあげます。

◆へんしゅうこうき

○ 来る11月22日(土)には、昭和55年度同窓会評議員会ならびに総会が開催されます。総会終了後の懇親会は関口、浅井、井上議員の当選祝賀会もあわせて行なわれることとなっております。河邊会長からも多数の同窓諸先生の出席が希望されております。年1度の総会でもあり、当日は万障繰りあわせて出席しようではありませんか。

○ 今秋には学術会議会員選挙が行われます。既に先号にてお知らせしたとおり、母校より山本名誉教授が再び立候補されます。6月の国政選挙に示したわが同窓の力を再び結集し、山本名誉教授を再び日本学術会議に送りましょう。

○ 母校千葉校舎の建設は順調に進捗し、9月18日には上棟式が厳粛にとり行われました。工事全体の進行状況は9月末日現在で68%に達しております。全工事の完工は頭初計画どおり明年6月末日となり、7、8月には移転が行われる予定です。今号には上棟式の模様ならびにその折の写真を載せました。広大な敷地の一角に偉容を見せ始めた千葉校舎の一端をご覧ください。

○ 高山紀齋先生の墳墓の改修が就り、10月3日関係者一同列席の上墓地改修供養が行われました。その折の記事とともに、墓地の所在地文殊院の地図を掲載しました。

○ 広報部員に名を連ねて3年が経ちました。どうやら仕事の段取りのみみ込めるようになりましたが、まだまだ先輩の先生の足を引っばることも多々あります。自分の立場なりに、より親しみのもてる会報づくりに頑張りたいと思っております。明日の会報のため同窓の諸先生方からのご意見をぜひ聞かせて下さい。

秋も深まり、朝夕の寒さを膚に感じられる此頃です。同窓諸先生方の御自愛をお祈りいたします。

(薬師寺記)

広報担当理事：中村泰之、溝上隆男、松川健二、伊藤 哲、白崎源有、林 幹雄、馬嶋 博、野上順平
広報部委員：中久喜喬、梅田昭夫、倉橋和啓、山本啓介、櫻井善忠、薬師寺仁、松井恭平、林 量一

昭和55年10月15日 印刷

昭和55年10月20日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第198号

編集・発行人 中 村 泰 之
東京歯科大学同窓会

〒101 東京都千代田区三崎町2-9-18
電話 (03) 262-3421 (内線 226)
(03) 264-4859 (直通)

印刷所 一世印刷株式会社
東京都新宿区下落合2-6-22
電話 (03) 952-5651 (代)

高輪と品川、ふたつのプリンスホテル

両プリンスホテルは、東京歯科大学同窓会の皆さまに特別サービスをご用意して、ご利用をお待ちしています。



由緒ある日本庭園を配して緑の中に静まる高輪プリンスホテル。500の客室、10をこえる各種レストラン、バー。つねにプリンスホテルならではの、まごころをこめたおもてなしで内外のお客さまをお迎えし、真のくつろぎを提供いたしております。



都内でも有数の設備を誇るスポーツランドをはじめとして、のびのびと楽しめる新しいタイプのホテル、品川プリンスホテル。ビジネスでのご利用はもちろん、ご旅行にもご家族でのレジャーにも幅広く、気軽にご利用いただきたいホテルです。

●ご宿泊●

特別割引料金にてご利用いただけます。

ご予約は、会員専用の予約直通電話をご利用ください。

高輪プリンスホテル (03)445-1855 品川プリンスホテル (03)449-3581

★上記専用電話以外のご予約につきましては、特別料金によるご宿泊は、できませんのでご了承ください。

●ご婚礼●

同窓会の皆さまと皆さまからご紹介いただいたご婚礼に対して、

各種のサービスがございます。

サービス適用ホテルは、高輪プリンスホテル・品川プリンスホテル・麻布プリンスホテル・白金プリンス迎賓館です。

★ご予約の際は必ず東京歯科大学とお申出ください。

 **高輪プリンスホテル**
東京都港区高輪3-13-1 ☎108 TEL.(03)447-1111

 **品川プリンスホテル**
東京都港区高輪4-10-30 ☎108 TEL.(03)440-1111

新発売

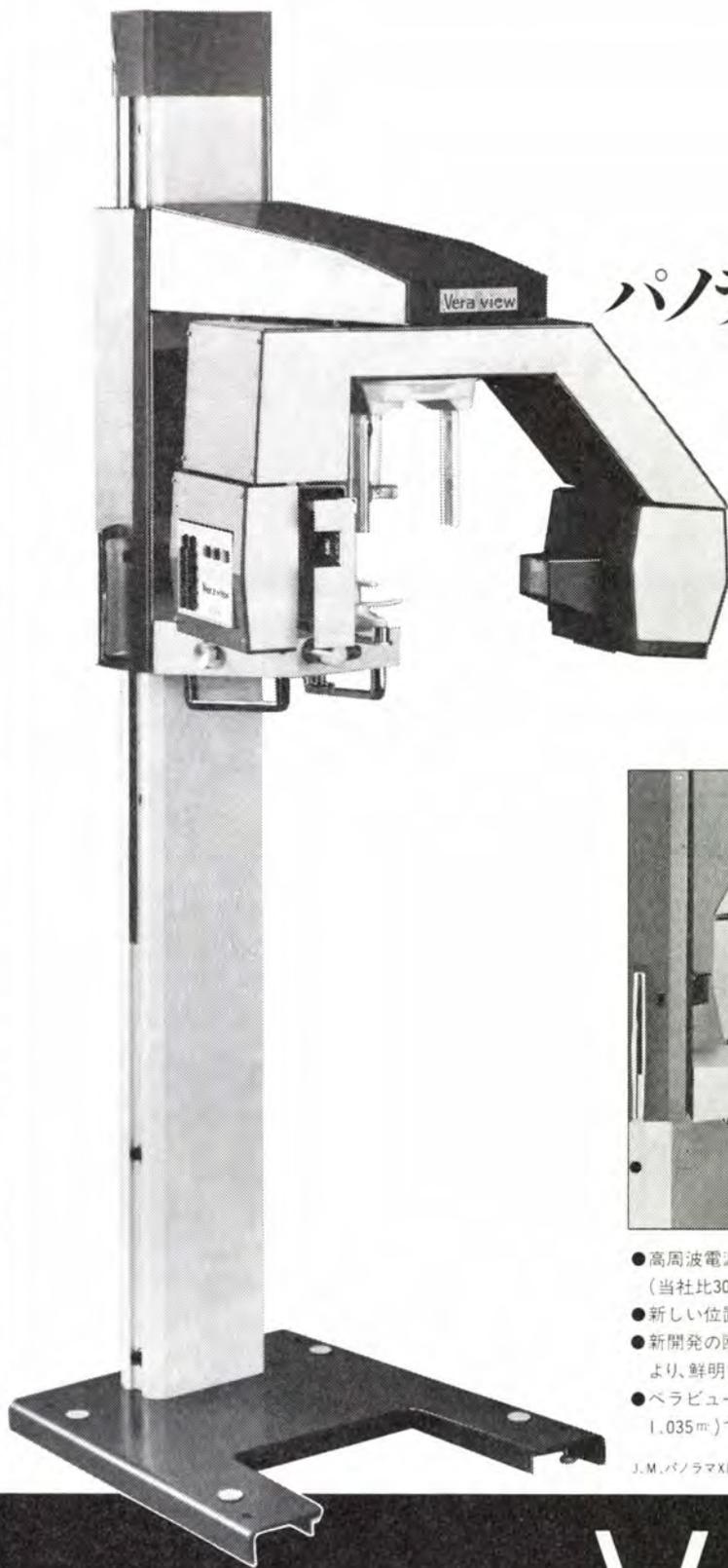
酸化亜鉛ユージオールセメント

ネオダイン[®]α

大きく飛躍して新登場!!

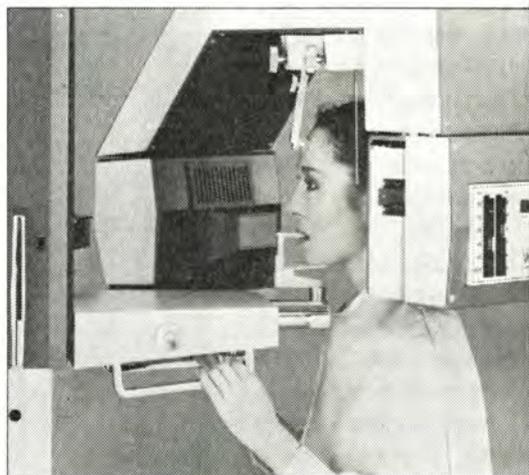


ネオ製薬工業株式会社
東京・長野



パノラマを越えた...

パノラマX線装置ベラビュー



- 高周波電源の直流方式の採用で、患者の被曝X線量が少く（当社比30%減）鮮明なX線写真が撮れます。
- 新しい位置づけ機構により患者の位置づけが容易です。
- 新開発の断層軌道機構と直流方式・鋭焦点X線管の採用により、鮮明で良質の画像が得られます。
- ベラビューの据付面積は最少スペース（1.045×0.99 m = 1.035 m²）で、しかも重量は190kgと軽量です。

J.M.パノラマX線装置 ベラビュー 標準価格¥2,600,000 昭和54年11月20日現在

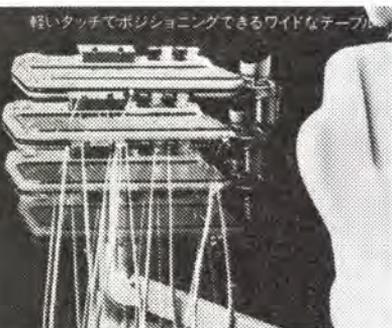
歯科用パノラマ直流方式X線装置

Vera view



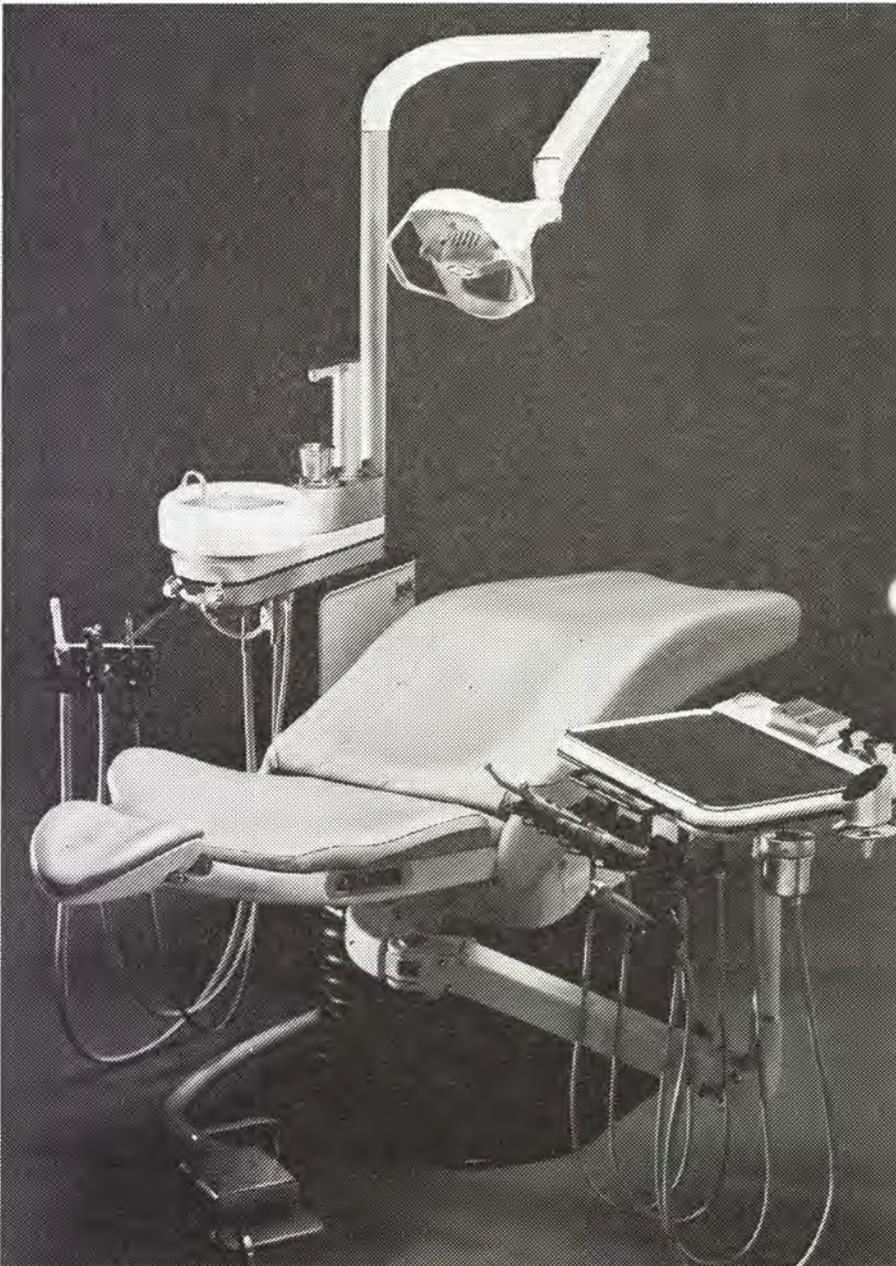
株式会社モリタ・モリタ製作所・モリタ東京製作所

未来を先取りした シンプル&ハイアビリティ



ジャスティック
justic

「シンプル&ハイアビリティ」ジャスティックでは、ムダなデコレーションを一切廃しました。人間の自然なフォルムから考え出された、シンプルなオールマイティチェア。診療空間をよりスッキリさせた、ワーキングテーブルのアンダーアーム。どの機構にも、理想的な診療形態を創造するためのシンプル化がなされています。そして、何よりも患者への圧迫感や恐怖心を和らげました。たとえば、アンダーアームひとつとってみても、ドクターに診療しやすいポジションを与えるだけではなく、ワーキングテーブルを患者の視界から外すことにより、心理的圧迫感を与えません。といっても、私たちは「シンプル・イズ・ザ・ベスト」だとは考えていません。ムダな部分を省くと同時に、より効果的診療を可能にする数多くのディテールをグレードアップ。「シンプル&ハイアビリティ」こそまさに、ジャスティックの一貫した思想です。



株式会社 **ヨシダ**

〒110 東京都台東区上野7-6-9
TEL 03-845-2911代

資料請求券



金属焼付ポーセレン用金合金

KIK HARD II

- 硬度が210Hvと硬く、長いブリッジ・うすいクラウン等にも最適です。
- 流動性が優れており容易に鋳造できます。
- 焼成回数を重ねてもメタルの変形はほとんどありません。

主成分 金73%・銀2.8%・白金13%・パラジウム9.7%

諸性質 ● 溶融温度1240~1290℃ ● 比重17.8 ● 鋳造収縮1.34

	硬度Hv	引張強さ kg/mm	伸び%
鋳造時	180	44	5
グレース時	210	46	5
硬化時	225	48	4

KIK ポーセレンの他VITA・CERAMCO等のポーセレンに使用できます。

石福金属興業株式会社

常に歯科機械のあり方を、身をもってリードしつづけてきた歯科機械のオサダ。そのオサダが心のかよふ医療、心のかよひあう医療機器を心から願い、本物を尊ぶ先生のために、上品に、丁寧に創りあげたデンタルユニットが「スマイリーGM」です。落ち着きのあるフォルム。理想的な機構と機能。そして高度な安全性と使用感。すべてが先生のお好みになつた「スマイリーGM」は80年代の歯科機器界をリードする実力派ユニットです。

80年代の実力派ユニット スマイリーGM



オサダの歯科機械
長田電機工業株式会社
 東京都品川区西五反田5-17 5☎03(492)7651(代)

スマイリーGM 3700型
 標準価格 ¥ 2,818,000

第3集「歯科医院のレイアウト」発行!

歯科医院の開業・増設にあたって基本的な設計の考え方から始まって、各部の重要なポイント、規制などを、設計図、写真をもとに解説。又別冊で開院にあたっての細かい材料、機器等のチェックリストも総て網羅してあります。この一冊があれば、開院・増設の準備は万全です。

体裁=A4判/100頁、内巻頭カラー32頁、定価5,000円

※ご購入の方はオサダ全国営業所・代行店、又は本社に直接お申し込みください。



ナノメートル

nmファイラーの

(ナノメートル:メートルの10⁻⁹、ミクロンの1000分の1を表わす)

GC

マイクロレスト新発売



超微粒子ファイラーの威力は、
充填面のなめらかさに歴然です。

従来、一般に先生方がお使いのコンポジットレジン、約30ミクロン程度のガラスファイラーを使っています。マイクロレストのシリカファイラーは、なんとその1000分の1。0.02~0.03ミクロンという超微粒子です。従って、その差は歴然。重合面が違、研磨面が違、磨耗面が違——すべてに緻密で均質なマイクロレストの優位性が現われるのです。その他、吸水性の極めて少ない特殊な疎水性モノマー、辺縁封鎖性抜群のボンディングシステム等、特長様々。これらはプラークの付きにくい滑沢な表面と相まって、美しさをいつまでも失わない、優れた充填を約束します。いかがですか——今日からマイクロレスト。

近日発売

超微粒子ファイラー修復材 ● ジャータイプ

マイクロレスト 《マイクロジャー》



超微粒子ファイラー修復材 ● シリンジタイプ

マイクロレスト《マイクロシリンジ》

而至齒科工業株式会社 G-C DIC
〒113 東京都文京区本郷3-2-14 Tel.03(815)1511 ●東京DIC 03(816)6480(直)

お問い合わせ先 ●北海道DIC 011(271)7373(代) ●東北DIC 0222(71)8757(代) ●名古屋DIC 052(703)3231(代) ●大阪DIC 06(771)4682(代) ●広島DIC 0822(55)1771(代)
●九州DIC 092(441)1286(代) ●新潟出張所 0252(84)6622 ●徳島出張所 0886(25)8244 ●長崎出張所 0958(47)6104 ●鹿児島出張所 0992(68)0070

昭和56年度学生募集要項

歯科技工学科

- 受験資格 高校卒 男女50名
- 修業年限 2ヶ年 昼間授業
- 願書受付 昭和55年12月1日(月)より
昭和56年1月23日(金)まで
- 試験期日 昭和56年1月25日(日) 筆記・実技
1月27日(火)か28日(水)のいずれか
1日 面接・健康診断
- 入試科目 英語(A)・数学(I・II A)・国語(現代国語・古典1甲)・実技

歯科技工専修科

- 出願資格 歯科技工士又は歯科技工士養成所卒業の者。若干名
- 入試期日 昭和56年2月下旬

入学案内 千共1,000円(現金書留又は郵便小為替)



顧問 東京歯科大学学長 松宮 誠一



東京歯科技工専門学校

TOKYO DENTAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

〒141 東京都品川区西五反田5-1-10(東急目蒲線不動前下車2分) TEL 03(東京)-492-4221(代)

歯科鑄造用銀合金(銀・インジウム系)
クラウン・インレー・ブリッジ・
レジン前装冠・継続歯用 **ニュータイプ**

サリバン

パラエイト タフネス

- 口腔内での耐変色性が非常に優れています。
- 縁端強度が充分あります。
- 適合性が抜群です。
- 鑄造性が良く、鑄肌も良好です。
- 生体組織に対する親和性が抜群に優れております。



縁端強度と
耐変色性が
優れています。



日本歯研工業株式会社

本社：〒141 東京都品川区西五反田5-1-10 ☎03(492)0927(代)
支社：〒553 大阪市福島区海老江1-5-67 ☎06(458)7071(代)
上野営業所：〒101 東京都千代田区外神田6-10-6
吉岡歯材ビル2F ☎03(831)7031・7033

